



# 滝尾駅周辺整備基本構想

令和5年3月  
大分市

# 目 次

<b>序章</b> .....	<b>1</b>
1. 基本構想の目的.....	1
2. 対象区域：滝尾駅周辺地区.....	2
<b>第1章 上位・関連計画及び関連事業</b> .....	<b>3</b>
1. 上位・関連計画.....	3
2. 関連事業.....	16
<b>第2章 滝尾駅周辺の現況</b> .....	<b>17</b>
1. 人口動向.....	17
2. 鉄道の利用状況.....	18
3. 交通環境.....	19
4. 土地利用の状況.....	21
5. 建物の状況.....	23
6. 都市機能の立地状況.....	27
7. 歴史文化資源の状況.....	28
8. 法規制の状況.....	29
9. ハザードエリアの状況.....	30
<b>第3章 課題の整理</b> .....	<b>32</b>
1. JR 滝尾駅周辺に関する課題.....	32
2. 周辺道路に関する課題.....	32
3. 土地利用に関する課題.....	33
4. その他の課題.....	33
<b>第4章 滝尾駅周辺地区の将来像</b> .....	<b>35</b>
1. 滝尾駅周辺地区の魅力.....	35
2. 滝尾駅周辺地区の将来像.....	35
<b>第5章 都市づくり方針</b> .....	<b>36</b>
1. 滝尾駅の交通結節機能の強化.....	36
2. 地区内・地区外への円滑な移動を行うための安全で快適な道路空間の形成.....	36
3. 整備に伴う計画的な土地利用の推進.....	37
4. 防災・減災への対応と地域資源の活用.....	37

<b>第6章 方針実現に向けた取組</b> .....	<b>38</b>
1. 滝尾駅周辺全域（共通） .....	38
2. 都市計画道路 滝尾駅前線 .....	39
3. 滝尾駅前広場 .....	39
4. 南北幹線道路 .....	40
5. 狭あい道路等 .....	40
6. 各取組の実施時期のイメージ .....	43
<b>第7章 取組実現に向けた課題</b> .....	<b>44</b>
1. ハード整備における主な課題 .....	44
2. ソフト対策における主な課題 .....	44

# 序章

## 1. 基本構想の目的

大分市の中央部に位置する滝尾駅周辺地区は、別府湾に注ぐ大分川沿いに広がった地域であり、古くは交通の要衝となっていました。江戸時代には、肥後街道が区内を通り、参勤交代のルートとなり、その後、商店の集積により、戦前まで賑わっていました。

大正3年に滝尾駅が犬飼軽便線として開業し、その後豊肥本線の駅となり、現在の市街地が形成されています。

本地区は、『大分市都市計画マスタープラン』の地区別構想において、大分地区の一部の住宅市街地に位置づけられており、良好な住環境の整備が求められています。

滝尾駅周辺では、道路が狭いことによる円滑で安全な移動に課題があるなど、良好な住環境に必要な基盤不足や、滝尾駅の利用者のための駐車場や待機スペースがないなどの交通結節点としての機能不足などの課題もあります。

本市では『大分市まちづくり自治基本条例』において、市民の幸せな暮らしの実現を目指すために市民主体によるまちづくりを行うことを自治の基本理念としています。

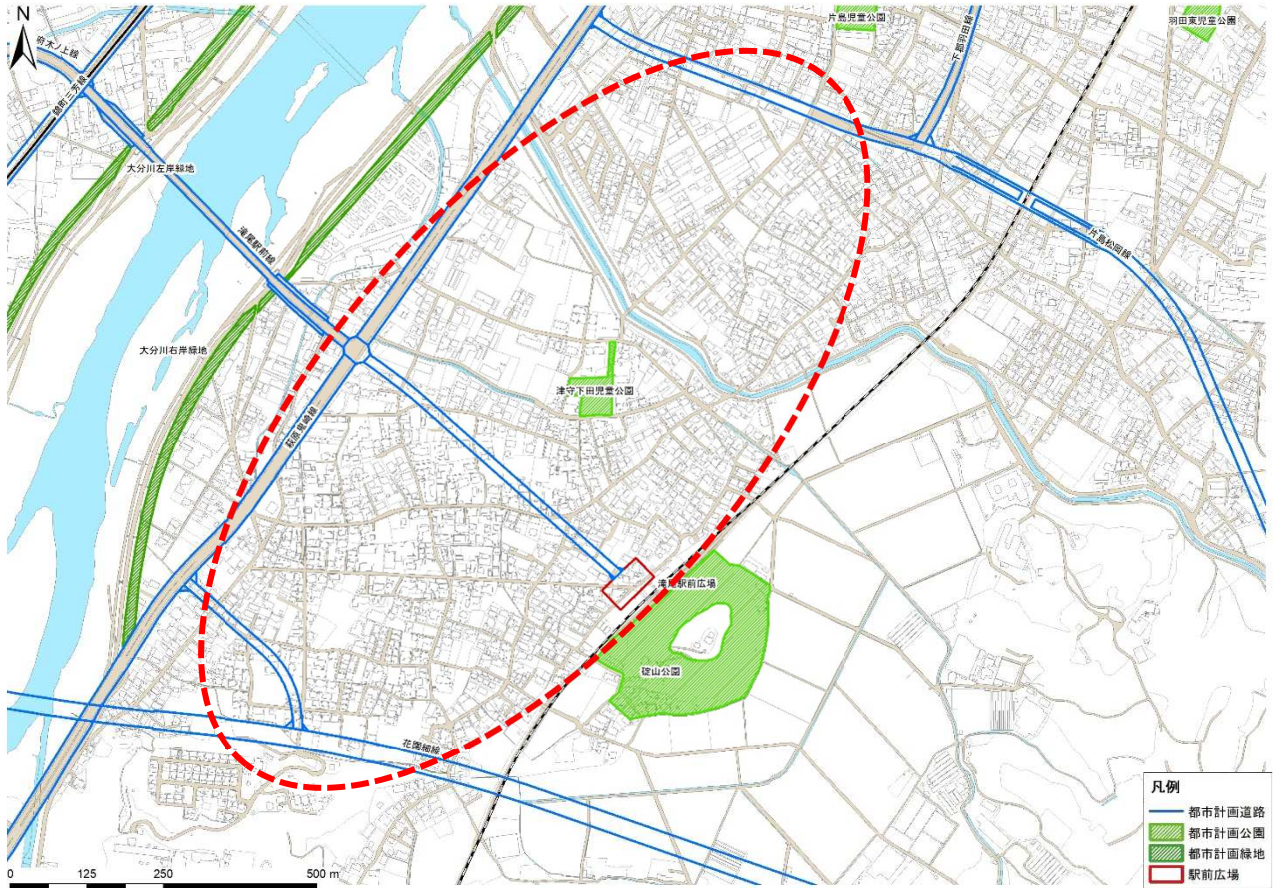
都市づくりは、そこに住む人、そこで働く人のためのものです。自らの生活を豊かにする都市づくりは、自らが考え、行動することが重要です。

「滝尾駅周辺整備基本構想」（以下、基本構想）は、こうした諸状況を踏まえ、市民や利用者のニーズに的確に対応し、本地区の拠点整備の方向性や方針等を市民、行政、まちづくりの専門家等で共有し、市民が主役となる都市づくりを官民協働で整備の推進を図っていくことを目的として策定するものです。



## 2. 対象区域：滝尾駅周辺地区

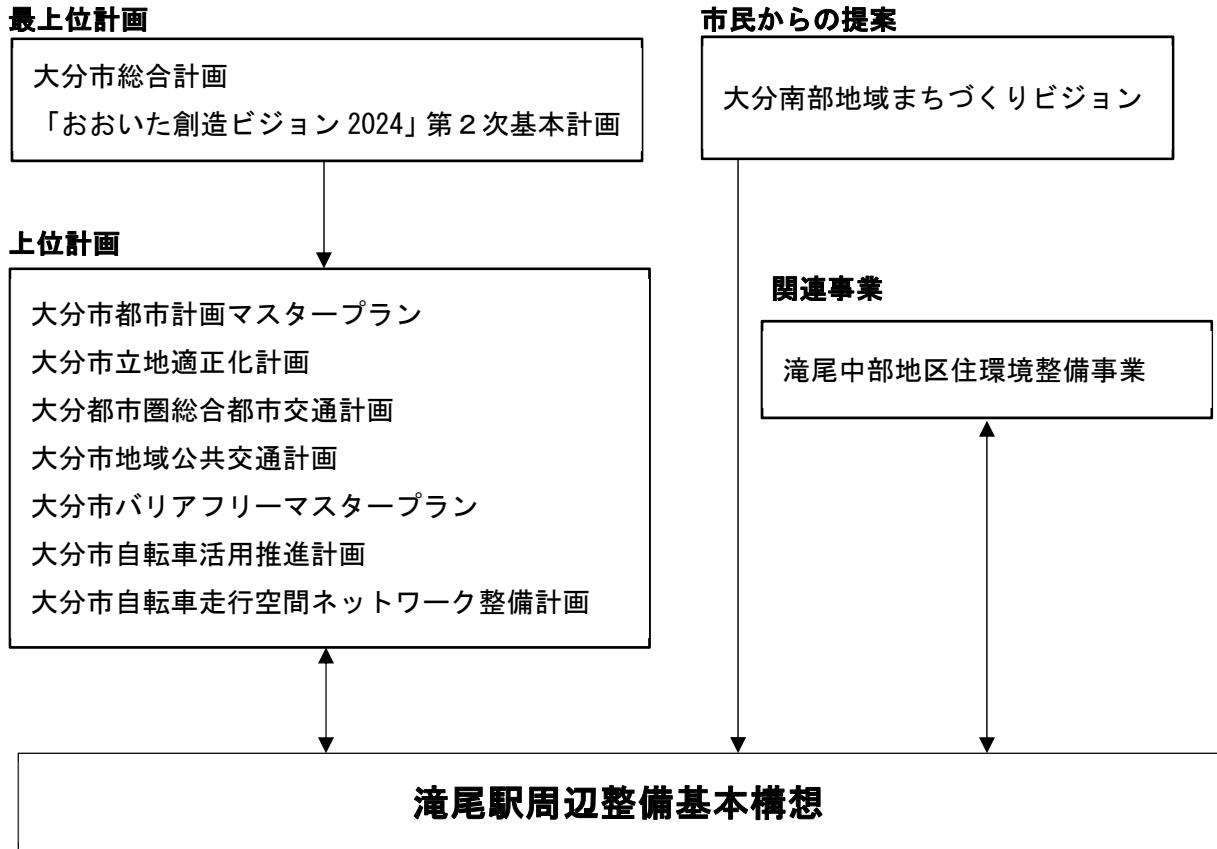
本基本構想の対象区域は、JR 滝尾駅を中心とした、都市計画道路萩原鬼崎線、片島松岡線、花園細線で囲まれた下記の範囲とします。ただし、基本構想の具体化を進める過程で、本地区拠点整備の趣旨を実現するために必要な施策や事業によっては、対象区域外も含めることを検討します。



# 第1章 上位・関連計画及び関連事業

## 1. 上位・関連計画

本基本構想の策定・推進にあたって、整合が重視される主な上位計画や関連事業等の関係性は以下の通りです。



(1) 大分市総合計画「おおいた創造ビジョン 2024」第2次基本計画

策定年月	2020（令和2）年3月	
計画の期間	2020（令和2）年度～2024（令和6）年度	
めざすまちの姿 （都市像）	笑顔が輝き 夢と魅力あふれる 未来創造都市	
基本的な政策	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 健やかでいきいきと暮らせるあたたかさあふれるまちづくり（市民福祉の向上）</li> <li>2 豊かな心とたくましく生きる力をはぐくむまちづくり（教育・文化の振興）</li> <li>3 安全・安心を身近に実感できるまちづくり（防災安全の確保）</li> <li>4 にぎわいと活力あふれる豊かなまちづくり（産業の振興）</li> <li>5 将来にわたって持続可能な魅力あふれるまちづくり（都市基盤の形成）</li> <li>6 自然と共生する潤い豊かなまちづくり（環境の保全）</li> </ol>	
基本計画（各論）	2 豊かな心とたくましく生きる力をはぐくむまちづくり（教育・文化の振興）	<p><b>第2章 個性豊かな文化・芸術の創造と発信</b></p> <p>》》 伝統的な芸能、行事の保存・継承</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●伝統的に地域で受け継がれてきた民俗文化財の保存・継承に努めます。</li> <li>●伝統芸能や地域固有の行事などを通じ、地域に対する愛着をはぐくむとともに、市民相互の連携を深めて地域の活性化を図ります。</li> </ul>
	5 将来にわたって持続可能な魅力あふれるまちづくり（都市基盤の形成）	<p><b>第1章 快適な都市構造の形成と機能の充実</b></p> <p><b>第1節 計画的な市街地の形成</b></p> <p>》》 風格ある広域都心と暮らしやすい地区拠点の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●地域の自然・歴史・文化などの特性を生かした個性的で魅力のある暮らしやすい地区拠点の形成を目指します。</li> </ul> <p>》》 計画的な土地利用の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●良好な市街地の形成を目指し、区画整理や住環境の整備、市街地再開発など、地域の特性に応じた事業の推進を図ります。</li> <li>●市街地の整備等に当たっては、低・未利用地の有効活用など、効率的かつ都市の健全な発展に資する土地利用を図るとともに、緑の保全や創造、景観、防災などに配慮し、周囲の環境との調和、宅地等の安全性の確保に努めます。</li> </ul> <p>》》 産業や生活を支える道路体系の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●市域の均衡ある発展と経済・産業活動の活性化、交通渋滞の緩和などのため、道路、橋梁の拡幅や新規橋梁、休憩施設等の整備を促進します。</li> </ul> <p>》》 人にやさしく美しい都市空間の創造と整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●高齢者や障がいのある人をはじめとするだれもが円滑に移動ができ、安全・安心に都市施設の利用ができるよう、段差の解消や点字ブロックの適正配置、無電柱化の推進などユニバーサルデザインに配慮した都市空間の整備に取り組みます。</li> <li>●災害時の延焼遮断帯や避難・輸送路、避難場所など災害に強い都市空間の整備を進めます。</li> <li>●風格のある質の高い都市景観づくりや地域の特性を生かした個性ある都</li> </ul>

市空間形成を推進するとともに、歴史・文化・芸術を生かした観光拠点の整備を推進し、回遊性の高い、魅力的で歩いて楽しい都市を創造します。

## **第2節 交通体系の確立**

### **>>> 公共交通ネットワークの構築**

- 交通事業者等と連携し、各鉄道駅における駅前広場、駐車場、駐輪場などの整備をはじめ、新駅の設置、日豊本線の高速・複線化などを促進するとともに、バスやタクシーをはじめとする交通機関との乗り換えなど、交通結節機能の強化を目指します。

### **>>> 公共交通の利便性の向上と利用促進**


- 高齢者や障がいのある人等の移動制約者や訪日外国人旅行者、来訪者等の公共交通機関を利用した移動の安全性及び利便性の向上を図るため、市民、交通事業者、行政が一体となり、ハード・ソフトの一体的な取組のもと利用環境のユニバーサルデザイン化・バリアフリー化を促進します。

### **>>> 自転車等利用環境の充実**

- 国、県等の関係機関と連携し、連続性のある自転車走行空間の整備を進めるなど、自転車を安全・快適に利用できる環境づくりに努めます
- 駐輪場の整備やシェアサイクルの導入、自転車利用者の安全対策に関する取組を進めます。



## (2) 大分市都市計画マスタープラン

策定年月	2021（令和3）年3月
目標年次	2040（令和22）年（中間年次：2030（令和12）年）
将来都市像	<b>笑顔が輝き 夢と魅力あふれる 未来創造都市</b>
基本理念	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 健やかでいきいきと暮らせるあたたかさあふれるまちづくり</li> <li>2 豊かな心とたくましく生きる力をはぐくむまちづくり</li> <li>3 安全・安心を身近に実感できるまちづくり</li> <li>4 にぎわいと活力あふれる豊かなまちづくり</li> <li>5 将来にわたって持続可能な魅力あふれるまちづくり</li> <li>6 自然と共生する潤い豊かなまちづくり</li> </ol>
都市づくりの基本方針	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 県都にふさわしい広域都心の形成</li> <li>2 広域的な交流・連携やまちづくりを支える交通体系の確立</li> <li>3 ライフスタイルを豊かにする快適で安全な住環境と地区拠点を中心としたコンパクトな都市づくり</li> <li>4 都市の個性と風格を醸成し集客力を高める都市の魅力創出</li> <li>5 人と自然とが共生できる豊かな自然環境の保全・活用と身近な緑、水辺の再生</li> <li>6 自然災害に備える防災機能の向上と危機管理体制の確立</li> <li>7 産学官民が協働して参画する都市づくりの推進</li> </ol>
将来都市構造	<p>■ 滝尾駅周辺：拠点等の設定なし、住宅市街地としての位置付け</p> <p>：住宅市街地開発事業や開発行為によって形成された住宅団地、従来からの住宅を中心とした土地利用を継承していく市街地については、地区の特性に応じた住環境の維持または改善を図ります。</p> 

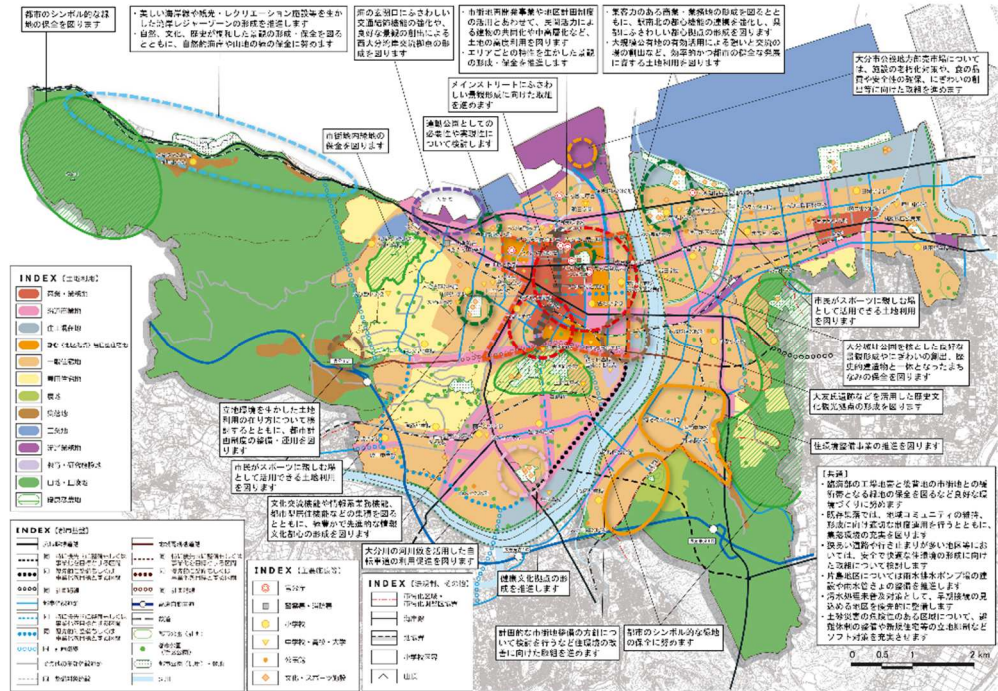
地区別構想  
(大分地区)

■まちづくりの目標

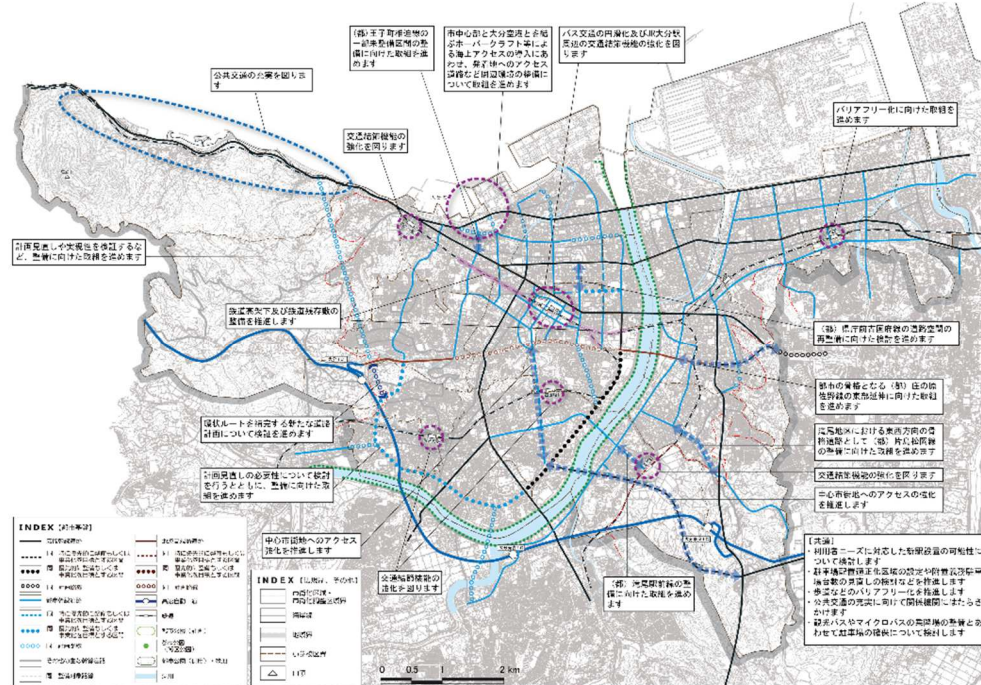
「緑あふれる広域都心の形成」

■大分地区のまちづくり方針図

《土地利用・市街地整備 環境・景観 その他》



《交通施設》



## ■まちづくりの方針

### 1. 土地利用・市街地整備

- ・滝尾地区においては、住環境整備事業の推進を図るとともに、(都)滝尾駅前線の整備推進をはじめ計画的な市街地整備の方針について検討を行うなど住環境の改善に向けた取組を進めます。
- ・狭あい道路や行き止まりが多い地区等においては、安全で快適な住環境の形成に向けた取組について検討を進めます。

### 2. 交通施設

- ・東九州自動車道大分 IC と市東部を結ぶ、都市の骨格となる(都)庄の原佐野線の東部延伸に向けた取組を進めます。
- ・市街地の外周を迂回し、都市の骨格となる環状道路について、計画の見直しや実現性の検証及び環状ルートを補完する新たな道路計画について検討を行うなど、国、県、市連携のもと、整備に向けた取組を進めます。
- ・中心市街地への円滑なアクセスを図るため、(都)上野丘南大分線、(都)花園細線の整備を推進します。
- ・滝尾地区における東西方向の骨格道路として、(都)片島松岡線の整備に向けた取組を進めます。
- ・JR 南大分駅、滝尾駅、西大分駅などにおいて、駅前広場やアクセス道路の整備など交通結節機能の強化を図ります。
- ・利用者ニーズに対応した新駅設置の可能性について検討します。
- ・歩道などのバリアフリー化を推進します。
- ・公共交通の充実に向けて関係機関にはたらきかけます。

### 3. 環境・景観

- ・大分川の河川敷を活用した自転車道などの利用促進を図ります。

### 4. その他

- ・片島地区については、計画的な雨水排水ポンプ場の建設や雨水管きよの整備を推進します。
- ・汚水処理の未普及対策として、人口密度の高い地域や住民意向調査による早期接続の見込める地区を優先的に整備します。
- ・土砂災害の危険性のある区域については、避難体制の整備や新規住宅等の立地抑制などソフト対策を充実させます。




(3) 大分市立地適正化計画

<p>策定年月</p>	<p>2019（平成 31）年 3 月</p>
<p>目標年次</p>	<p>2040（令和 22）年</p>
<p>都市づくりの基本理念</p>	<p style="text-align: center;"><b>元気・安心・快適な暮らしを支える</b></p> <p style="text-align: center;"><b>将来にわたって持続可能な『多極ネットワーク型集約都市』の形成</b></p>
<p>都市づくりの基本方針</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 県都にふさわしい風格とにぎわいのある大分都心拠点づくり</li> <li>2 地域特性を生かした個性と魅力あふれる地区拠点づくり</li> <li>3 だれもが安心して暮らし続けることができる居住環境づくり</li> <li>4 交流とつながりをはぐくむ公共交通ネットワークづくり</li> </ol>
<p>目指すべき 将来都市構造イメージ</p>	
<p>誘導区域及び 誘導施設</p>	<p>■ 居住推奨区域</p> <p>■ 誘導施設（都市機能誘導区域内において、立地を誘導すべき都市機能増進施設）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 都市機能誘導区域及び誘導施設の位置付けなし</li> </ul>



(4) 大分都市圏総合都市交通計画

策定年月	2021（令和3）年3月																				
目標年次	2035（令和17）年																				
都市圏における交通体系の将来像	将来にわたって安心して利用でき、 地域の活力と都市圏の発展を支える交通体系																				
基本方針	1 他都市圏との活発な交流・連携を支援する広域交通体系 2 拠点集約型まちづくりを支援する持続可能な交通体系 3 安全・安心な移動により生活を支える交通体系																				
県都・大分市の将来交通体系	<p>■大分市における道路ネットワーク</p>  <p>注）短期：概ね5年程度、中期：概ね10年程度、長期：概ね10～20年程度</p> <p>■大分市における道路ネットワークに関する整備候補路線</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>路線名</th> <th>区間</th> <th>供用を目指す時期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6</td> <td>片島松岡線</td> <td>大字片島～大字羽田 【(都)萩原鬼崎線～(都)下郡羽田線】</td> <td>短期 (完了)</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>片島松岡線</td> <td>大字羽田～大字米良 【(都)下郡羽田線～(都)下郡中判田線】</td> <td>中期</td> </tr> <tr> <td>17</td> <td>滝尾駅前線</td> <td>大字津守～大字津守 【滝尾駅～広瀬橋東交差点】</td> <td>中期</td> </tr> <tr> <td>24</td> <td>花園細線</td> <td>大字羽屋～大字片島 【国道10号～米良IC付近】</td> <td>長期</td> </tr> </tbody> </table> <p>■幹線交通網の強化策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○鉄道沿線の地区拠点等との連携強化</li> <li>○鉄道駅周辺及びホーバークラフト発着地の交通結節機能強化</li> <li>○都市間交流を活性化する高速道路を活用した広域的バス運行の強化</li> </ul> <p>■地域内交通網の強化策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○大分駅周辺におけるバスターミナルの設置及び機能の充実</li> <li>○ホーバークラフト発着地の二次交通の充実</li> <li>○地区内の回遊性を高める循環バスの導入</li> </ul>	No	路線名	区間	供用を目指す時期	6	片島松岡線	大字片島～大字羽田 【(都)萩原鬼崎線～(都)下郡羽田線】	短期 (完了)	15	片島松岡線	大字羽田～大字米良 【(都)下郡羽田線～(都)下郡中判田線】	中期	17	滝尾駅前線	大字津守～大字津守 【滝尾駅～広瀬橋東交差点】	中期	24	花園細線	大字羽屋～大字片島 【国道10号～米良IC付近】	長期
No	路線名	区間	供用を目指す時期																		
6	片島松岡線	大字片島～大字羽田 【(都)萩原鬼崎線～(都)下郡羽田線】	短期 (完了)																		
15	片島松岡線	大字羽田～大字米良 【(都)下郡羽田線～(都)下郡中判田線】	中期																		
17	滝尾駅前線	大字津守～大字津守 【滝尾駅～広瀬橋東交差点】	中期																		
24	花園細線	大字羽屋～大字片島 【国道10号～米良IC付近】	長期																		
大分市における地区毎の主な公共交通施策（大分地区）																					

(5) 大分市地域公共交通計画

策定年月	2022（令和4）年3月																
目標年次	2022（令和4）年度～2026（令和8）年度																
地域公共交通の 基本理念	<b>市民・交通事業者・行政が連携し、だれもが快適に 移動できる公共交通ネットワークの構築を目指す。</b>																
本市における 地域公共交通の 基本方針	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 すべての人が住み慣れた場所で安心して生活できる公共交通の維持・活性化</li> <li>2 風格とにぎわいのある都市拠点や地域の特性を活かした個性的で魅力ある地区拠点の形成を支える公共交通ネットワークの構築</li> <li>3 利用者のニーズに合った効果的な公共交通ネットワークの構築</li> <li>4 市民や来街者、だれもが分かりやすく利用しやすい公共交通の環境整備</li> </ol>																
目標を達成するた めに行う取組の全 体像	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="background-color: #0056b3; color: white;">基本方針</th> <th style="background-color: #e91e63; color: white;">目 標</th> <th style="background-color: #0056b3; color: white;">取組の全体像</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="background-color: #e0f0ff;">(1) すべての人が住み慣れた場所で安心して生活できる公共交通の維持・活性化</td> <td style="background-color: #e0f0ff;">だれもが安心して生活できる生活交通の確保</td> <td style="background-color: #e0f0ff;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 生活交通の確保・維持（鉄道・バス路線）、地域公共交通ネットワークのあり方検討</li> <li>◆ 乗合タクシー（ふれあい交通）の利用促進及び見直しの検討</li> <li>◆ 地域内の移動手段の調査・検討</li> <li>◆ 路線バス代替交通の運行及び見直しの検討</li> <li>◆ 新たなモビリティサービスの調査・検討（その他）</li> <li>◆ 公共交通以外の輸送資源の可能性検討</li> <li>◆ 長寿応援バス事業の実施・継続・見直し</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td style="background-color: #e0ffe0;">(2) 風格とにぎわいのある都市拠点や地域の特性を活かした個性的で魅力ある地区拠点の形成を支える公共交通ネットワークの構築</td> <td style="background-color: #e0ffe0;">都市拠点と地区拠点のにぎわい創出</td> <td style="background-color: #e0ffe0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 中心市街地循環バス「大分きゃんバス」の運行</li> <li>◆ 中心市街地公有地利活用の調査・検討</li> <li>◆ 新たなモビリティサービスの実施及び検討（グリーンスローモビリティ）</li> <li>◆ 海上アクセスに関連する取組（MaaS等）</li> <li>◆ パークアンドライドやサイクルアンドバスライド等の取組の促進</li> <li>◆ 新駅設置の可能性・役割の検討</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td style="background-color: #fff0e0;">(3) 利用者のニーズに合った効果的な公共交通ネットワークの構築</td> <td style="background-color: #fff0e0;">公共交通利用者の維持・確保</td> <td style="background-color: #fff0e0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 移動需要に応じた運行の見直し（地域旅客サービス継続事業の検討）</li> <li>◆ 公共交通の連携可能性調査（地域公共交通利便増進事業の検討）</li> <li>◆ 県都大分市交通円滑化検討（BRTの検討）</li> <li>◆ 公共交通の利用促進に向けた取組（モビリティ・マネジメント）</li> <li>◆ 広域圏の公共交通との連携強化</li> <li>◆ 新たなモビリティサービスの実施及び検討（自動運転）</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td style="background-color: #ffe0ff;">(4) 市民や来街者、だれもが分かりやすく利用しやすい公共交通の環境整備</td> <td style="background-color: #ffe0ff;">だれもが利用しやすい公共交通</td> <td style="background-color: #ffe0ff;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ バスロケ及びデジタルサイネージの運用</li> <li>◆ 低床バス、UD タクシーの導入促進等</li> <li>◆ 公共交通の情報発信の取組強化</li> <li>◆ 市民・来訪者の受入環境整備（観光戦略プランとの整合）</li> <li>◆ バス停上屋、接続バス停の待合環境整備</li> </ul> </td> </tr> </tbody> </table>		基本方針	目 標	取組の全体像	(1) すべての人が住み慣れた場所で安心して生活できる公共交通の維持・活性化	だれもが安心して生活できる生活交通の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 生活交通の確保・維持（鉄道・バス路線）、地域公共交通ネットワークのあり方検討</li> <li>◆ 乗合タクシー（ふれあい交通）の利用促進及び見直しの検討</li> <li>◆ 地域内の移動手段の調査・検討</li> <li>◆ 路線バス代替交通の運行及び見直しの検討</li> <li>◆ 新たなモビリティサービスの調査・検討（その他）</li> <li>◆ 公共交通以外の輸送資源の可能性検討</li> <li>◆ 長寿応援バス事業の実施・継続・見直し</li> </ul>	(2) 風格とにぎわいのある都市拠点や地域の特性を活かした個性的で魅力ある地区拠点の形成を支える公共交通ネットワークの構築	都市拠点と地区拠点のにぎわい創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 中心市街地循環バス「大分きゃんバス」の運行</li> <li>◆ 中心市街地公有地利活用の調査・検討</li> <li>◆ 新たなモビリティサービスの実施及び検討（グリーンスローモビリティ）</li> <li>◆ 海上アクセスに関連する取組（MaaS等）</li> <li>◆ パークアンドライドやサイクルアンドバスライド等の取組の促進</li> <li>◆ 新駅設置の可能性・役割の検討</li> </ul>	(3) 利用者のニーズに合った効果的な公共交通ネットワークの構築	公共交通利用者の維持・確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 移動需要に応じた運行の見直し（地域旅客サービス継続事業の検討）</li> <li>◆ 公共交通の連携可能性調査（地域公共交通利便増進事業の検討）</li> <li>◆ 県都大分市交通円滑化検討（BRTの検討）</li> <li>◆ 公共交通の利用促進に向けた取組（モビリティ・マネジメント）</li> <li>◆ 広域圏の公共交通との連携強化</li> <li>◆ 新たなモビリティサービスの実施及び検討（自動運転）</li> </ul>	(4) 市民や来街者、だれもが分かりやすく利用しやすい公共交通の環境整備	だれもが利用しやすい公共交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ バスロケ及びデジタルサイネージの運用</li> <li>◆ 低床バス、UD タクシーの導入促進等</li> <li>◆ 公共交通の情報発信の取組強化</li> <li>◆ 市民・来訪者の受入環境整備（観光戦略プランとの整合）</li> <li>◆ バス停上屋、接続バス停の待合環境整備</li> </ul>
基本方針	目 標	取組の全体像															
(1) すべての人が住み慣れた場所で安心して生活できる公共交通の維持・活性化	だれもが安心して生活できる生活交通の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 生活交通の確保・維持（鉄道・バス路線）、地域公共交通ネットワークのあり方検討</li> <li>◆ 乗合タクシー（ふれあい交通）の利用促進及び見直しの検討</li> <li>◆ 地域内の移動手段の調査・検討</li> <li>◆ 路線バス代替交通の運行及び見直しの検討</li> <li>◆ 新たなモビリティサービスの調査・検討（その他）</li> <li>◆ 公共交通以外の輸送資源の可能性検討</li> <li>◆ 長寿応援バス事業の実施・継続・見直し</li> </ul>															
(2) 風格とにぎわいのある都市拠点や地域の特性を活かした個性的で魅力ある地区拠点の形成を支える公共交通ネットワークの構築	都市拠点と地区拠点のにぎわい創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 中心市街地循環バス「大分きゃんバス」の運行</li> <li>◆ 中心市街地公有地利活用の調査・検討</li> <li>◆ 新たなモビリティサービスの実施及び検討（グリーンスローモビリティ）</li> <li>◆ 海上アクセスに関連する取組（MaaS等）</li> <li>◆ パークアンドライドやサイクルアンドバスライド等の取組の促進</li> <li>◆ 新駅設置の可能性・役割の検討</li> </ul>															
(3) 利用者のニーズに合った効果的な公共交通ネットワークの構築	公共交通利用者の維持・確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 移動需要に応じた運行の見直し（地域旅客サービス継続事業の検討）</li> <li>◆ 公共交通の連携可能性調査（地域公共交通利便増進事業の検討）</li> <li>◆ 県都大分市交通円滑化検討（BRTの検討）</li> <li>◆ 公共交通の利用促進に向けた取組（モビリティ・マネジメント）</li> <li>◆ 広域圏の公共交通との連携強化</li> <li>◆ 新たなモビリティサービスの実施及び検討（自動運転）</li> </ul>															
(4) 市民や来街者、だれもが分かりやすく利用しやすい公共交通の環境整備	だれもが利用しやすい公共交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ バスロケ及びデジタルサイネージの運用</li> <li>◆ 低床バス、UD タクシーの導入促進等</li> <li>◆ 公共交通の情報発信の取組強化</li> <li>◆ 市民・来訪者の受入環境整備（観光戦略プランとの整合）</li> <li>◆ バス停上屋、接続バス停の待合環境整備</li> </ul>															

## (6) 大分市バリアフリーマスタープラン

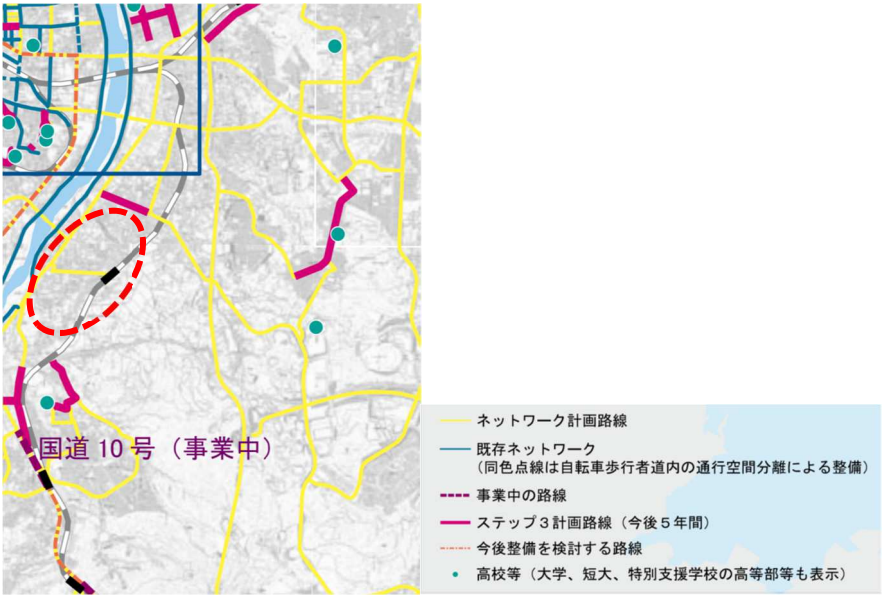
<b>策定年月</b>	2020（令和2）年4月
<b>目標年次</b>	2020（令和2）年度～2024（令和6）年度
<b>基本理念</b>	<b>だれもが 自由に どこへでも 豊かさあふれる 大分市</b>
<b>基本方針</b>	<ol style="list-style-type: none"><li>1 バリアフリー・ユニバーサルデザインを基本としたまちづくりの大分市全域への拡大</li><li>2 誰もが円滑に移動できるバリアフリー環境の形成強化</li><li>3 市民・事業者・行政の協働による住民参加の取組</li><li>4 継続的なバリアフリー化の進行管理と検証</li><li>5 心のバリアフリーの推進</li><li>6 計画立案から周知へ、バリアフリーの普及・啓発活動の推進</li></ol>

(7) 大分市自転車活用推進計画

<p>策定年月</p>	<p>2020（令和2）年4月</p>																						
<p>計画期間</p>	<p>2020（令和2）年度～2024（令和6）年度</p>																						
<p>基本方針</p>	<p>バイシクルフレンドリータウン ～自転車が似合うまち～の創造</p>																						
<p>施策の体系</p>	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" data-bbox="528 432 1377 465"> <p><b>目標1</b> 自転車で 便利で快適、きれいなまち おおいた</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="528 465 635 728" rowspan="3"> <p><b>都市環境</b></p> </td> <td data-bbox="635 465 1377 539"> <p>1. 安全で快適な自転車通行空間づくり (1) 「大分市自転車走行空間ネットワーク整備計画」の推進 (2) 自転車通行空間を確保するための取組 (3) 自転車案内サイン整備の推進</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="635 539 1377 636"> <p>2. 便利で適切に利用される駐輪環境づくり (1) 「大分市自転車等駐車場整備計画」の推進 (2) 附置義務による民間駐輪場の確保 (3) 放置自転車対策の推進 (4) 自転車盗難対策の推進</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="635 636 1377 728"> <p>3. 交通施策と連動した便利で多様な仕組みづくり (1) シェアサイクル事業の推進 (2) サイクルアンドライドの促進 (3) 将来的な MaaS 導入を見据えた自転車利用環境の構築 (4) IoT 等の活用</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="528 741 1377 775"> <p><b>目標2</b> 自転車で 心と体が元気になるまち おおいた</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="528 775 635 882" rowspan="2"> <p><b>健康</b></p> </td> <td data-bbox="635 775 1377 828"> <p>4. 情報発信等による自転車利用の促進 (1) 自転車の魅力の発信 (2) 自転車通勤の促進</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="635 828 1377 882"> <p>5. サイクルスポーツの普及促進 (1) サイクルスポーツに親しむ機会の創出 (2) 多様な自転車を楽しめる環境づくり</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="528 893 1377 927"> <p><b>目標3</b> 自転車で たくさん魅力が見えるまち・魅力をつなげるまち おおいた</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="528 927 635 1077" rowspan="2"> <p><b>観光</b></p> </td> <td data-bbox="635 927 1377 1001"> <p>6. 自転車を活かした観光・地域振興の推進 (1) 市民参加・体験型のサイクリングイベント等の実施 (2) 観光地における自転車利用環境の充実 (3) 自転車マップの充実</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="635 1001 1377 1077"> <p>7. サイクルツーリズムの推進 (1) 市域を超えたサイクリングイベントの開催 (2) サイクリングの拠点づくり (3) 広域サイクリングルートの構築</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="528 1088 1377 1122"> <p><b>目標4</b> 自転車に みんなが正しく乗れる安全・安心なまち おおいた</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="528 1122 635 1366" rowspan="3"> <p><b>思いやり</b> ＜安全・安心＞</p> </td> <td data-bbox="635 1122 1377 1196"> <p>8. 安全な自転車等の普及促進 (1) 安全基準に適合した自転車購入の促進 (2) 自転車の点検整備の促進 (3) 自転車損害賠償責任保険の加入促進</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="635 1196 1377 1292"> <p>9. 自転車ルール・マナーの啓発 (1) 自転車安全利用五則の周知 (2) 世代に応じた自転車ルール・マナーの啓発 (3) 自転車ヘルメット着用の促進 (4) 通学路等の安全の確保</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="635 1292 1377 1366"> <p>10. 災害時の自転車活用方策の検討 (1) 災害時に備えた市職員による自転車利用の促進 (2) 災害発生時における放置自転車等の活用 (3) 災害発生時におけるシェアサイクルの活用</p> </td> </tr> </table>	<p><b>目標1</b> 自転車で 便利で快適、きれいなまち おおいた</p>		<p><b>都市環境</b></p>	<p>1. 安全で快適な自転車通行空間づくり (1) 「大分市自転車走行空間ネットワーク整備計画」の推進 (2) 自転車通行空間を確保するための取組 (3) 自転車案内サイン整備の推進</p>	<p>2. 便利で適切に利用される駐輪環境づくり (1) 「大分市自転車等駐車場整備計画」の推進 (2) 附置義務による民間駐輪場の確保 (3) 放置自転車対策の推進 (4) 自転車盗難対策の推進</p>	<p>3. 交通施策と連動した便利で多様な仕組みづくり (1) シェアサイクル事業の推進 (2) サイクルアンドライドの促進 (3) 将来的な MaaS 導入を見据えた自転車利用環境の構築 (4) IoT 等の活用</p>	<p><b>目標2</b> 自転車で 心と体が元気になるまち おおいた</p>		<p><b>健康</b></p>	<p>4. 情報発信等による自転車利用の促進 (1) 自転車の魅力の発信 (2) 自転車通勤の促進</p>	<p>5. サイクルスポーツの普及促進 (1) サイクルスポーツに親しむ機会の創出 (2) 多様な自転車を楽しめる環境づくり</p>	<p><b>目標3</b> 自転車で たくさん魅力が見えるまち・魅力をつなげるまち おおいた</p>		<p><b>観光</b></p>	<p>6. 自転車を活かした観光・地域振興の推進 (1) 市民参加・体験型のサイクリングイベント等の実施 (2) 観光地における自転車利用環境の充実 (3) 自転車マップの充実</p>	<p>7. サイクルツーリズムの推進 (1) 市域を超えたサイクリングイベントの開催 (2) サイクリングの拠点づくり (3) 広域サイクリングルートの構築</p>	<p><b>目標4</b> 自転車に みんなが正しく乗れる安全・安心なまち おおいた</p>		<p><b>思いやり</b> ＜安全・安心＞</p>	<p>8. 安全な自転車等の普及促進 (1) 安全基準に適合した自転車購入の促進 (2) 自転車の点検整備の促進 (3) 自転車損害賠償責任保険の加入促進</p>	<p>9. 自転車ルール・マナーの啓発 (1) 自転車安全利用五則の周知 (2) 世代に応じた自転車ルール・マナーの啓発 (3) 自転車ヘルメット着用の促進 (4) 通学路等の安全の確保</p>	<p>10. 災害時の自転車活用方策の検討 (1) 災害時に備えた市職員による自転車利用の促進 (2) 災害発生時における放置自転車等の活用 (3) 災害発生時におけるシェアサイクルの活用</p>
<p><b>目標1</b> 自転車で 便利で快適、きれいなまち おおいた</p>																							
<p><b>都市環境</b></p>	<p>1. 安全で快適な自転車通行空間づくり (1) 「大分市自転車走行空間ネットワーク整備計画」の推進 (2) 自転車通行空間を確保するための取組 (3) 自転車案内サイン整備の推進</p>																						
	<p>2. 便利で適切に利用される駐輪環境づくり (1) 「大分市自転車等駐車場整備計画」の推進 (2) 附置義務による民間駐輪場の確保 (3) 放置自転車対策の推進 (4) 自転車盗難対策の推進</p>																						
	<p>3. 交通施策と連動した便利で多様な仕組みづくり (1) シェアサイクル事業の推進 (2) サイクルアンドライドの促進 (3) 将来的な MaaS 導入を見据えた自転車利用環境の構築 (4) IoT 等の活用</p>																						
<p><b>目標2</b> 自転車で 心と体が元気になるまち おおいた</p>																							
<p><b>健康</b></p>	<p>4. 情報発信等による自転車利用の促進 (1) 自転車の魅力の発信 (2) 自転車通勤の促進</p>																						
	<p>5. サイクルスポーツの普及促進 (1) サイクルスポーツに親しむ機会の創出 (2) 多様な自転車を楽しめる環境づくり</p>																						
<p><b>目標3</b> 自転車で たくさん魅力が見えるまち・魅力をつなげるまち おおいた</p>																							
<p><b>観光</b></p>	<p>6. 自転車を活かした観光・地域振興の推進 (1) 市民参加・体験型のサイクリングイベント等の実施 (2) 観光地における自転車利用環境の充実 (3) 自転車マップの充実</p>																						
	<p>7. サイクルツーリズムの推進 (1) 市域を超えたサイクリングイベントの開催 (2) サイクリングの拠点づくり (3) 広域サイクリングルートの構築</p>																						
<p><b>目標4</b> 自転車に みんなが正しく乗れる安全・安心なまち おおいた</p>																							
<p><b>思いやり</b> ＜安全・安心＞</p>	<p>8. 安全な自転車等の普及促進 (1) 安全基準に適合した自転車購入の促進 (2) 自転車の点検整備の促進 (3) 自転車損害賠償責任保険の加入促進</p>																						
	<p>9. 自転車ルール・マナーの啓発 (1) 自転車安全利用五則の周知 (2) 世代に応じた自転車ルール・マナーの啓発 (3) 自転車ヘルメット着用の促進 (4) 通学路等の安全の確保</p>																						
	<p>10. 災害時の自転車活用方策の検討 (1) 災害時に備えた市職員による自転車利用の促進 (2) 災害発生時における放置自転車等の活用 (3) 災害発生時におけるシェアサイクルの活用</p>																						
<p>具体的な取組 1 安全で快適な自転車通行空間づくり</p>	<p>(1) 「大分市自転車走行空間ネットワーク整備計画」の推進</p> <p>■ネットワーク路線</p> 																						



(8) 大分市自転車走行空間ネットワーク整備計画

<p>策定年月</p>	<p>2021（令和3）年3月</p>
<p>計画期間</p>	<p>2021（令和3）年度～2025（令和7）年度</p>
<p>基本方針</p>	<p><b>ハード施策の基本方針</b>          :「安全で快適な自転車通行空間づくり」  <b>ソフト施策の基本方針</b>          :「安全な自転車等の普及促進」「自転車ルール・マナーの啓発」</p>
<p>施策の体系</p>	<p>■ハード施策とソフト施策の基本的な考え方</p> <p><b>ハード施策の基本的な考え方</b></p> <p>＜ネットワークの早期実現＞</p> <p>○新規整備を行う道路については、自転車通行空間整備の検討を行う。          既存道路への自転車ネットワーク整備は課題が多く、時間がかかるのはやむを得ないが、新規整備を行う道路において自転車通行空間の確保を積極的に推進することで、自転車ネットワークの早期実現を目指す。</p> <p>＜整備形態の選定＞</p> <p>○自転車は車道の左側を通行するという原則に沿った自転車通行空間の整備を行う。          車両である自転車は車道の左側を走るという原則に沿った、自転車道、自転車通行帯、車道混在の3つの整備形態を基本として自転車通行空間の整備を推進する。やむを得ず自転車歩行者道内での歩行者と自転車の分離を行う場合は、自転車ネットワークの暫定的な整備形態と位置付ける。</p> <p><b>ソフト施策の基本的な考え方</b></p> <p>＜ルール・マナーの実践＞</p> <p>○自転車は車道の左側を通行するという原則に沿った道路利用を促す。          自転車通行空間を整備するだけでは、すべての人が正しく利用するとは限らず、逆走などが発生して危険な場合があることから、様々なソフト施策の推進により、車両である自転車は車道の左側を走るという原則や歩道走行時のルール等を市民に広く認知させるとともに、実践につなげることを目指す。</p> <p>＜お互いに配慮する市民意識（思いやり）の醸成＞</p> <p>○すべての道路利用者がお互いに配慮する意識づくりを目指す。          自転車通行空間が未整備の道路においても、歩行者、自転車、自動車のすべての道路空間利用者が自転車のルール・マナーについて理解し、お互いに配慮する市民意識（思いやり）を持つことを目指す。</p>
<p>ネットワーク計画</p>	<p>■ネットワーク計画図</p>  <p>— ネットワーク計画路線          — 既存ネットワーク          (同色点線は自転車歩行者道内の通行空間分離による整備)          --- 事業中の路線          — ステップ3計画路線（今後5年間）          - - - 今後整備を検討する路線          ● 高校等（大学、短大、特別支援学校の高等部等も表示）</p> <p>国道10号（事業中）</p>

(9) 大分南部地域まちづくりビジョン

策定年月	2018（平成30）年7月		
大分南部地域の将来像	<b>自然豊かな温故知新を体感できるまち</b>		
市長への提言	提言1 住み続けたい、帰ってきたい地域づくり 提言2 地域の歴史的・文化的遺産などを活かした地域交流の充実 提言3 災害に備えた取組の推進		
提言に基づく提案事業 (本地区に関わる提言を抜粋)	■将来像の実現に向けた取組（事業案）一覧		
	提言	事業名	概要
	1	子育てしやすい住環境の整備	地域内の道路が狭く、通学路を通り抜ける車も多いため危険です。また、地域に子どもが少なくなっており、地域活性化と住環境の改善が必要であることから、道路、駅、公園などの整備を行う。
		JRの線路を利用して富山方式の路面電車を走らせる	大分駅から大分大学駅の間に、3～400m間隔で新駅を設置し、路面電車を走らせることで観光客を集めることができ、高齢者にも優しい公共交通となります。
		滝尾駅前の広い空地を活用	滝尾駅北西の空地を有効活用できるようにしてほしい。市からもJRに働きかけをしてほしい。
		利便性に富んだ街づくり	曲などの地区内の狭い抜け道を通る車が多く危険なため、バイパス道路を整備する。
2	豊富な歴史を活かした旧跡めぐりサポーターの育成	南部地域の豊富な歴史資源を活用するため、百穴や曲石仏などの地域の歴史を伝える旧跡めぐり子どもサポーターを育成する。郷土愛の醸成につながり、歴史探索などで多世代が交流でき、子育てサークルなども楽しめる機会の創出につながる。	
	子育てサロン・地域ふれあいサロンなど未来へつなぐコミュニティの充実・拡充	開催回数の増加や対象者、対象地域の拡大など、子育て世代もそれ以外の人もいきいきと交流しやすい環境の整備を行う。	
3	児童と高齢者が安全に避難できる避難設備（インフラ）の整備	避難拠点となる避難所などへの周辺道路の幅員確保などの整備を行う。緊急車両が入れない道路の拡幅、排水路整備など安全安心に資する整備を行う。	
	安全・安心な地域づくり	昨年の台風18号により地域内では床下浸水が発生したこともあり、防災に役立つ情報を地域の人たちで共有するとともに、防災人材の育成などにより、防災意識の向上に役立てる。	

## 2. 関連事業

本地区では、上位・関連計画等に基づき、既に様々な関連事業が実施されています。  
ここでは、現在進行中の主な関連事業を紹介します。

### 1) 滝尾中部地区住環境整備事業

本地区は、幹線道路と呼べる道路がなく円滑な交通体系が形成されていないことや、狭い生活道路が多いことから、災害時における緊急車両の進入困難等の防災上の不備および歩行者の安全確保が懸念されていました。このため住環境整備事業を行うことにより、緊急車両の進入経路や歩行者空間を確保し、安全・安心なまちづくりを推進しています。現在（都）片島松岡線（辻堂交差点～米良バイパス間）の整備に着手しており、主に用地買収を行っています。

- ・事業期間 平成29年度～令和15年度
- ・整備概要 都市計画道路：片島松岡線 全長=1,088メートル、幅員=18～25メートル

#### ■整備位置図





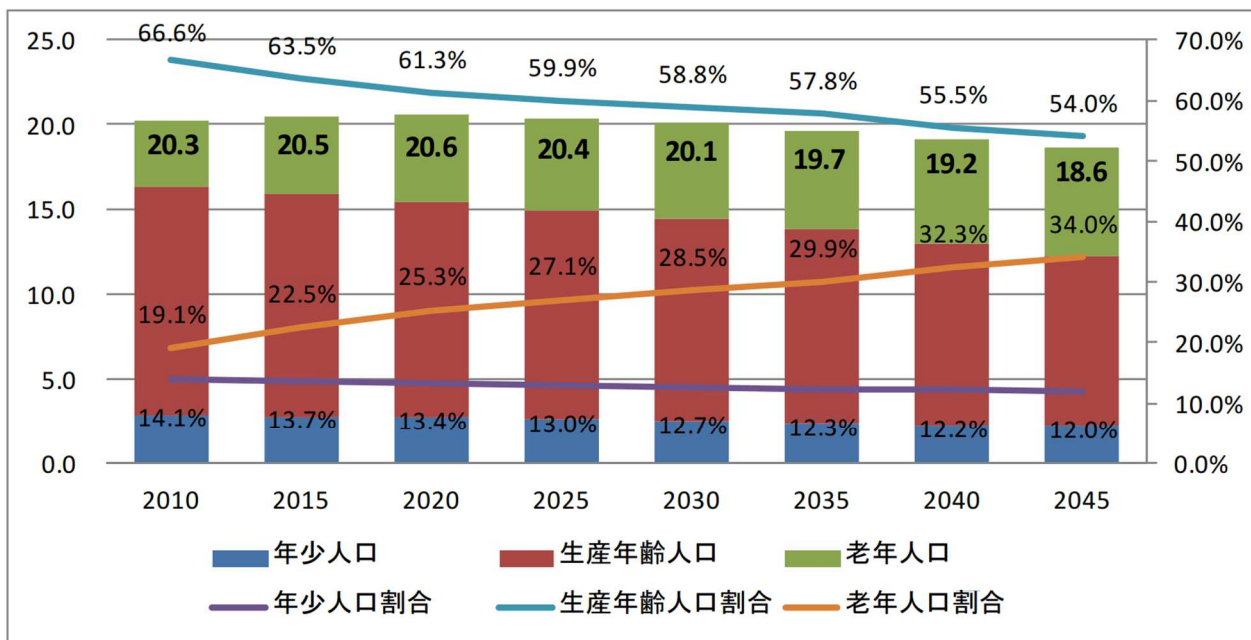
## 第2章 滝尾駅周辺の現況

### 1. 人口動向

#### (1) 大分地区の人口推移

2015年の大分地区全体の人口は、20.5万人で市の総人口の約42.9%を占めています。2045（令和27）年の人口は、18.6万人まで減少する見込みで、減少率は約9.3%となっています。

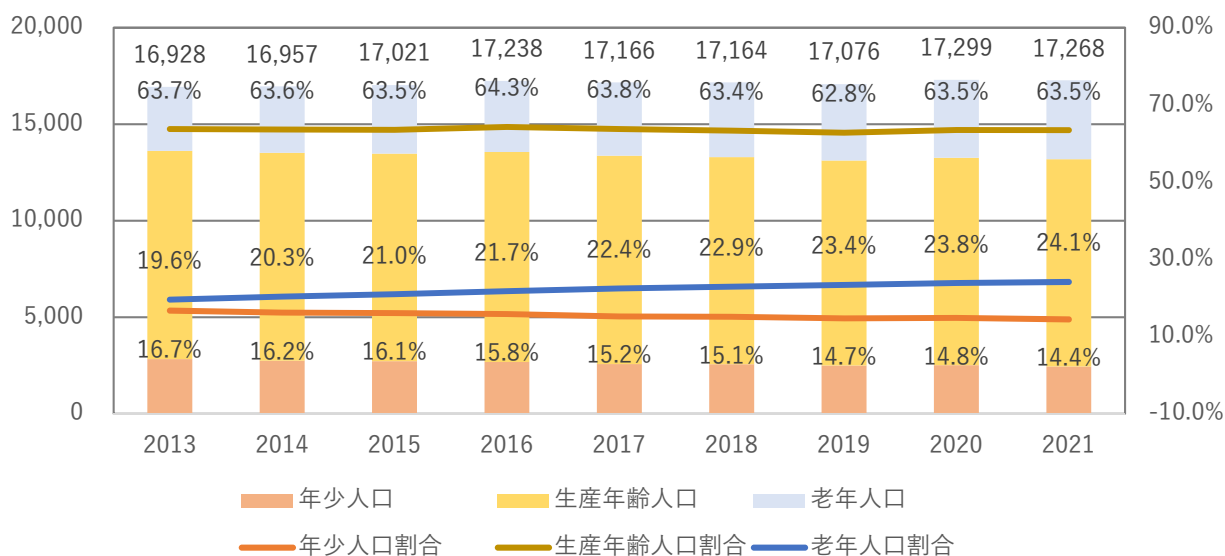
人口(万人)



資料：大分市人口ビジョン

#### (2) 滝尾・森岡校区の人口推移

本地区が含まれる滝尾・森岡校区の2021年人口は、2013年と比較して340人増加しています。生産年齢人口割合は0.2%減とあまり変わらず、老年人口割合は4.5%増となり、年少人口割合は2.3%減と少子化が進んでいます。



資料：住民基本台帳（各年10月末日）



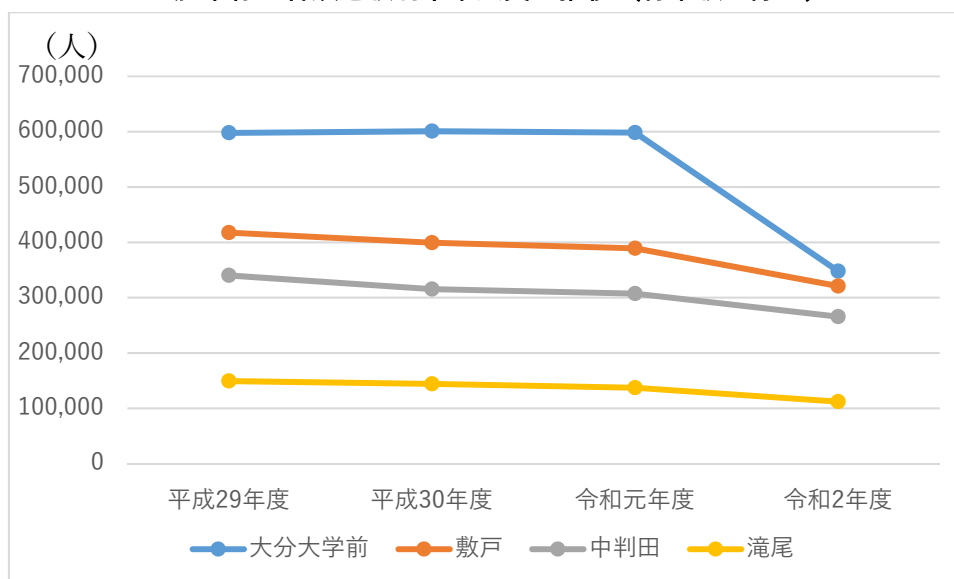
## 2. 鉄道の利用状況

JR 滝尾駅は、大分市内で4番目に乗車人員が少なく、令和2年度における乗車人員は11万2055人、日平均乗車人員は307人です。乗車人員の推移を見ると、平成29年度から減少傾向にあり、令和2年度は平成29年度と比較して約25%減少しています。

大分市内における鉄道駅の年間乗車人員（人）

駅名	路線	年間乗車人員（人）			
		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
大分	日豊本線	7,088,665	6,959,455	6,810,900	4,836,250
大在	日豊本線	788,400	794,970	803,000	631,450
鶴崎	日豊本線	717,590	714,670	701,530	564,290
高城	日豊本線	665,395	642,035	627,435	497,130
坂ノ市	日豊本線	439,095	428,145	445,300	376,680
大分大学前	豊肥本線	597,870	600,790	598,235	347,845
敷戸	豊肥本線	417,560	399,310	389,090	320,835
中判田	豊肥本線	340,180	315,360	307,330	265,720
牧	日豊本線	273,750	263,895	265,720	224,475
南大分	久大本線	199,655	200,020	197,100	173,740
賀来	久大本線	206,225	206,225	199,655	153,665
古国府	久大本線	164,250	173,010	175,930	147,095
西大分	日豊本線	178,120	177,025	175,200	144,175
<b>滝尾</b>	<b>豊肥本線</b>	<b>149,285</b>	<b>144,175</b>	<b>137,240</b>	<b>112,055</b>
豊後国分	久大本線	125,925	124,100	122,640	95,995
幸崎	日豊本線	119,355	113,150	111,325	94,900
竹中	豊肥本線	不明	不明	不明	不明

豊肥本線の各鉄道駅別乗車人員の推移（竹中駅を除く）



資料：大分市の統計

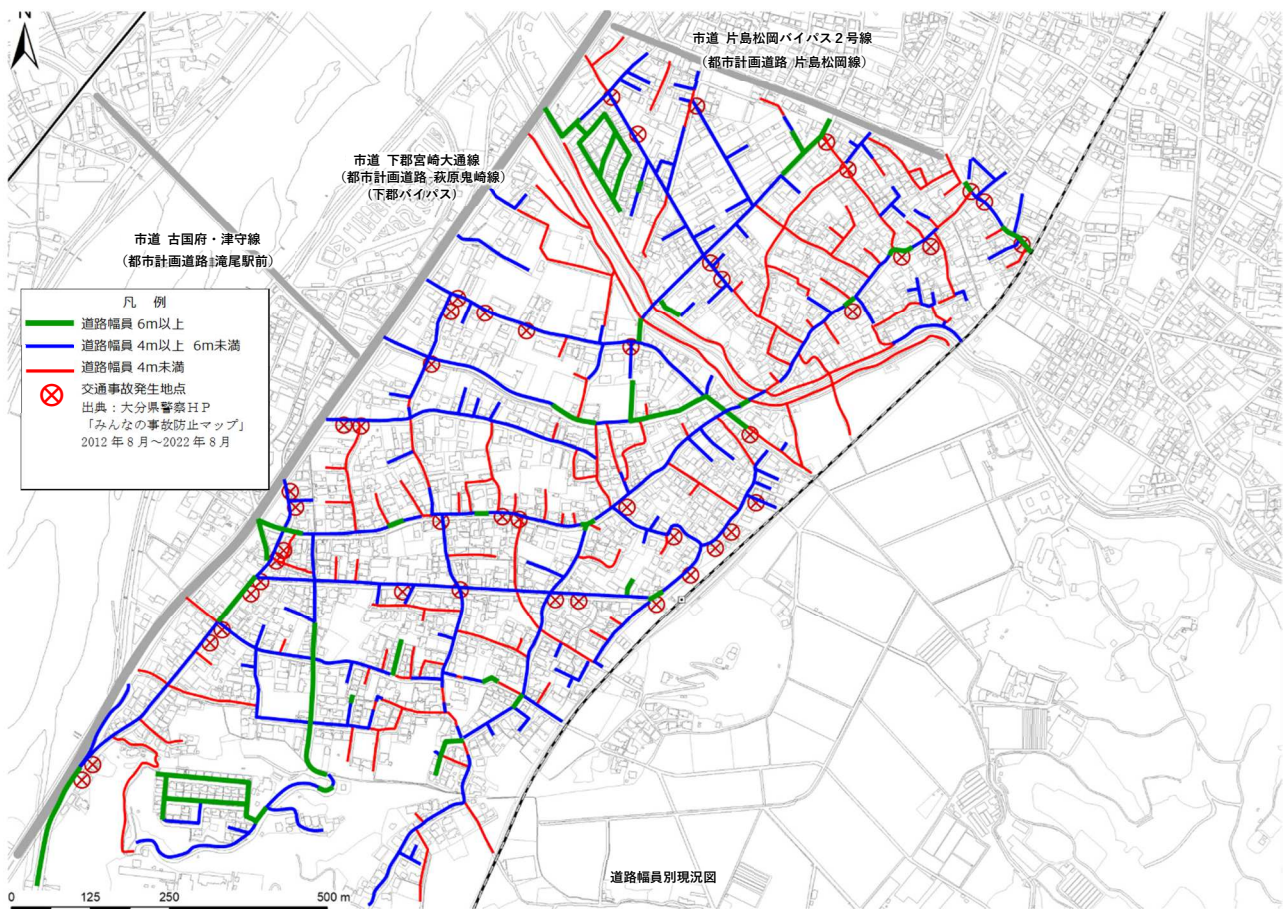
### 3. 交通環境

#### (1) 道路環境

地区周辺の主要な道路ネットワークは、市道下郡宮崎大通り線（都市計画道路萩原鬼崎線）や、市道片島松岡バイパス2号線（都市計画道路片島松岡線）が軸となっています。

地区内の道路幅員を見ると、4m未滿の狭あい道路が多くなっており、次いで、4m以上6m未滿の道路が多くなっています。そのほか、交通事故の発生地点も多くみられます。

道路ネットワークの状況



資料：おおいたマップ、大分県警察HP

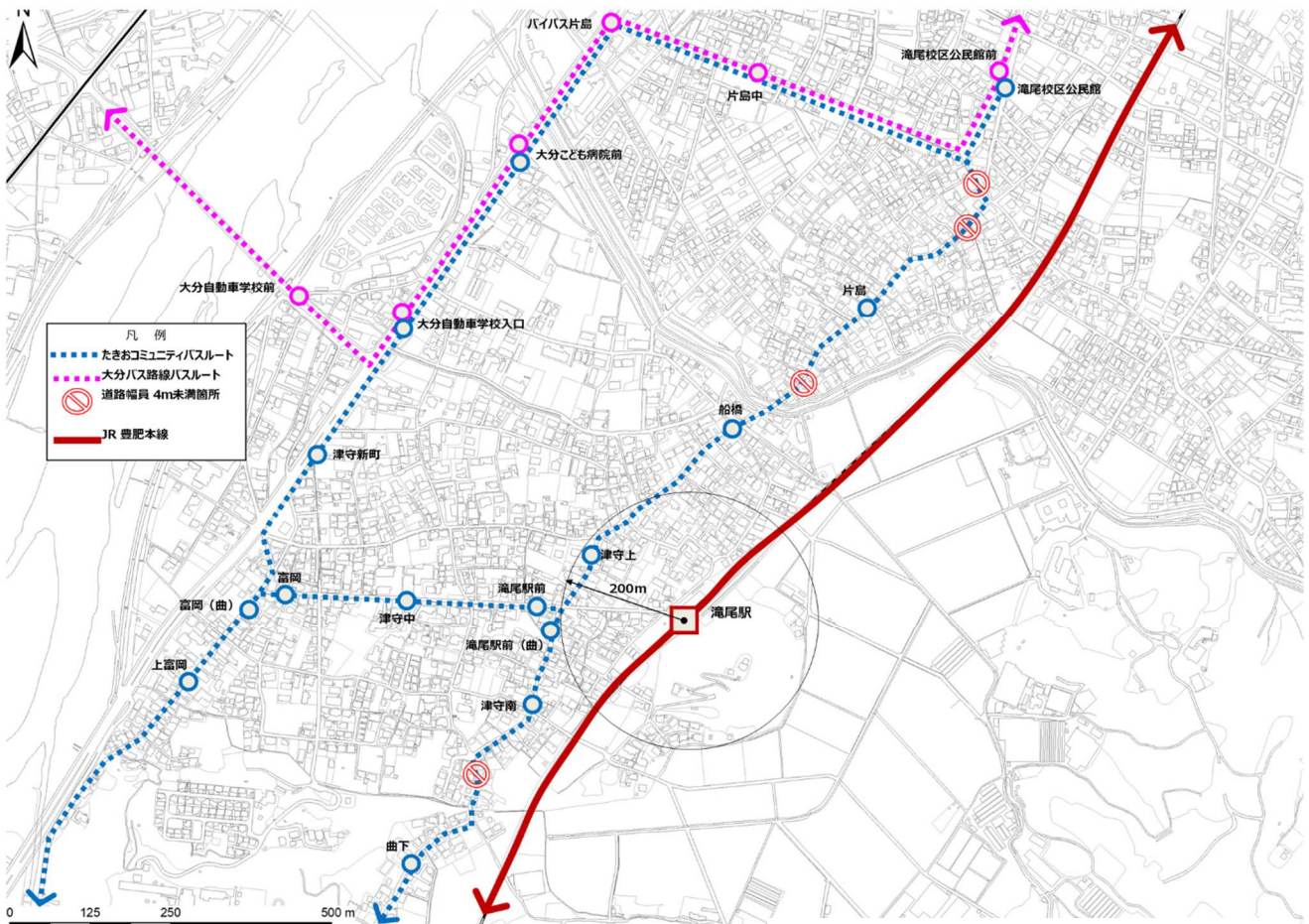
## (2) 公共交通ネットワーク

公共交通ネットワークは、JR 豊肥本線が滝尾駅を介して、上りで大分駅方面及び下りで熊本県方面を連絡しています。

路線バスは、市道下郡宮崎大通り線（都市計画道路萩原鬼崎線）や市道片島松岡バイパス 2 号線（都市計画道路片島松岡線）を運行しており、滝尾駅周辺等の地区内を通過していない状況となっています。

たきおコミュニティバスは、地区内を運行していますが、滝尾駅には接続していない状況となっています。

公共交通ネットワークの状況



資料：大分市HP、大分バス時刻表



## 4. 土地利用の状況

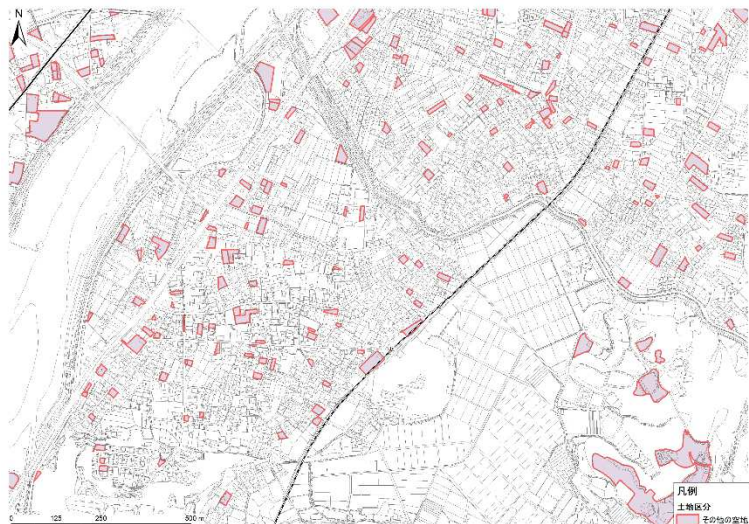
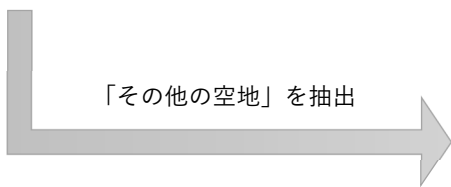
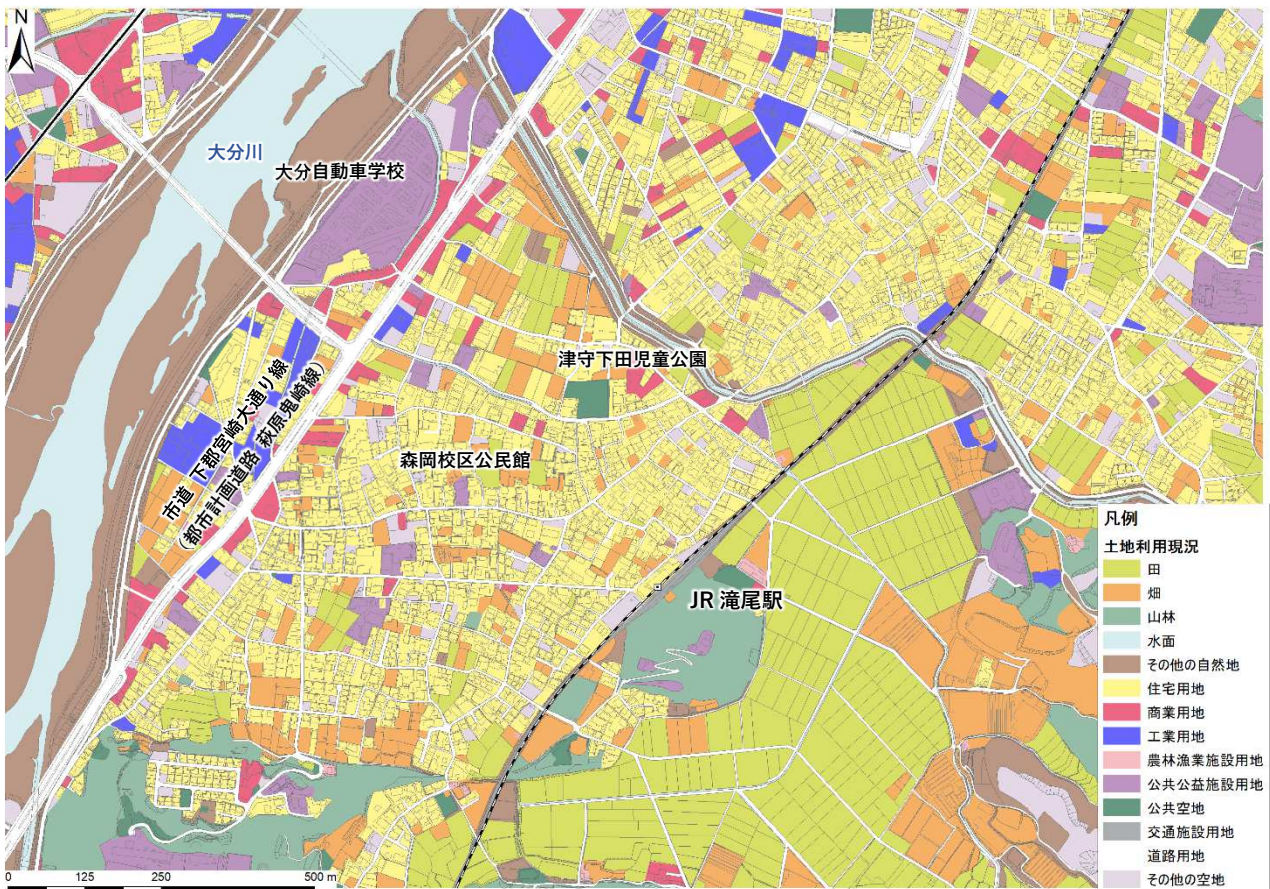
JR 滝尾駅北西側の市道下郡宮崎大通り線（都市計画道路萩原鬼崎線）には商業用地が多く、その間は住宅用地が広がっています。区域南部の山林部や津守下田児童公園の周辺には、耕作地がまとまって存在しています。

区域北部は、住宅用地が広がっているものの、部分的に工業用地も見られます。

駅南西側は、市街化調整区域であり、耕作地としての土地利用が主体となっています。

本地区内には、空き地や駐車場などの低・未利用地が多く存在しており、「都市のスポンジ化」が進行していることが伺えます。

土地利用現況（平成 28 年度）

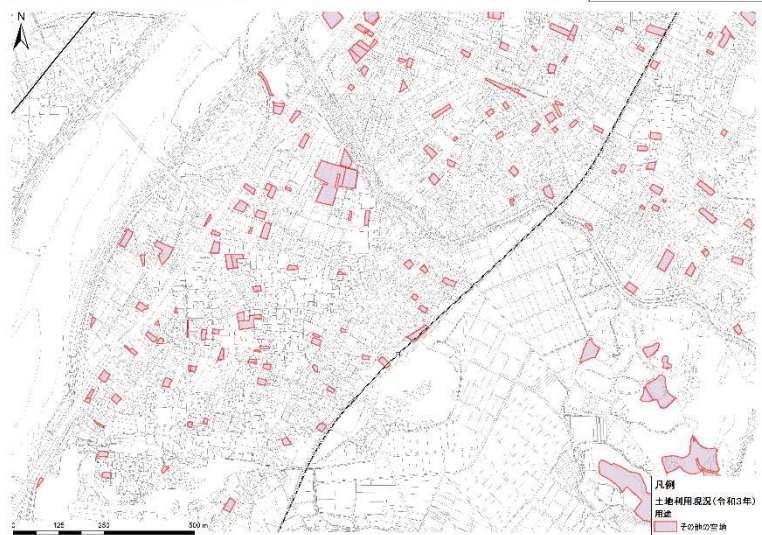
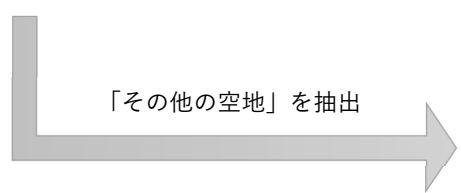
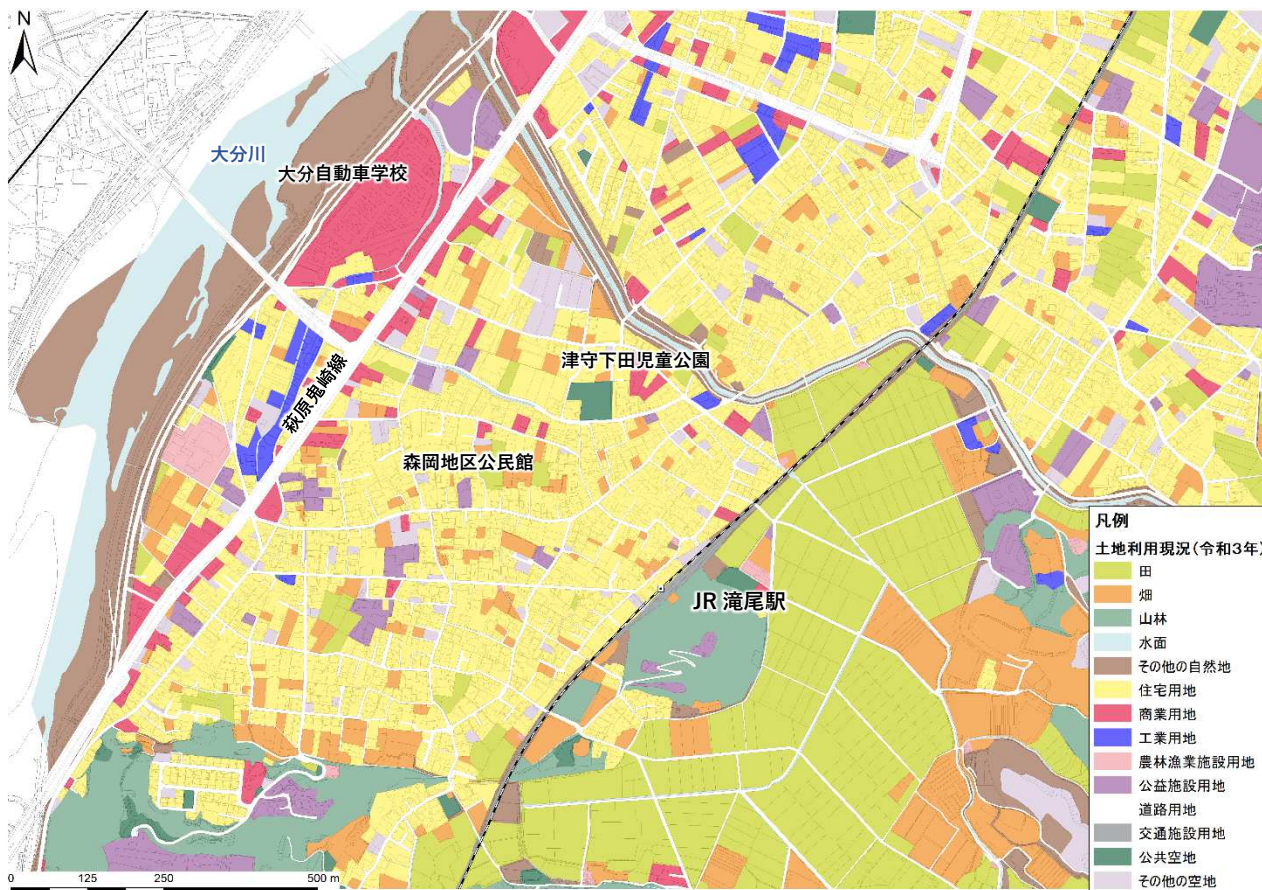


資料：都市計画基礎調査（平成 28 年度）



令和3年度の土地利用現況を見ると、津守下田児童公園の周辺など、田や畑から住宅用地等への転用が進んでいる状況が見られます。

土地利用現況（令和3年度時点）



資料：都市計画基礎調査（令和4年度）



## 5. 建物の状況

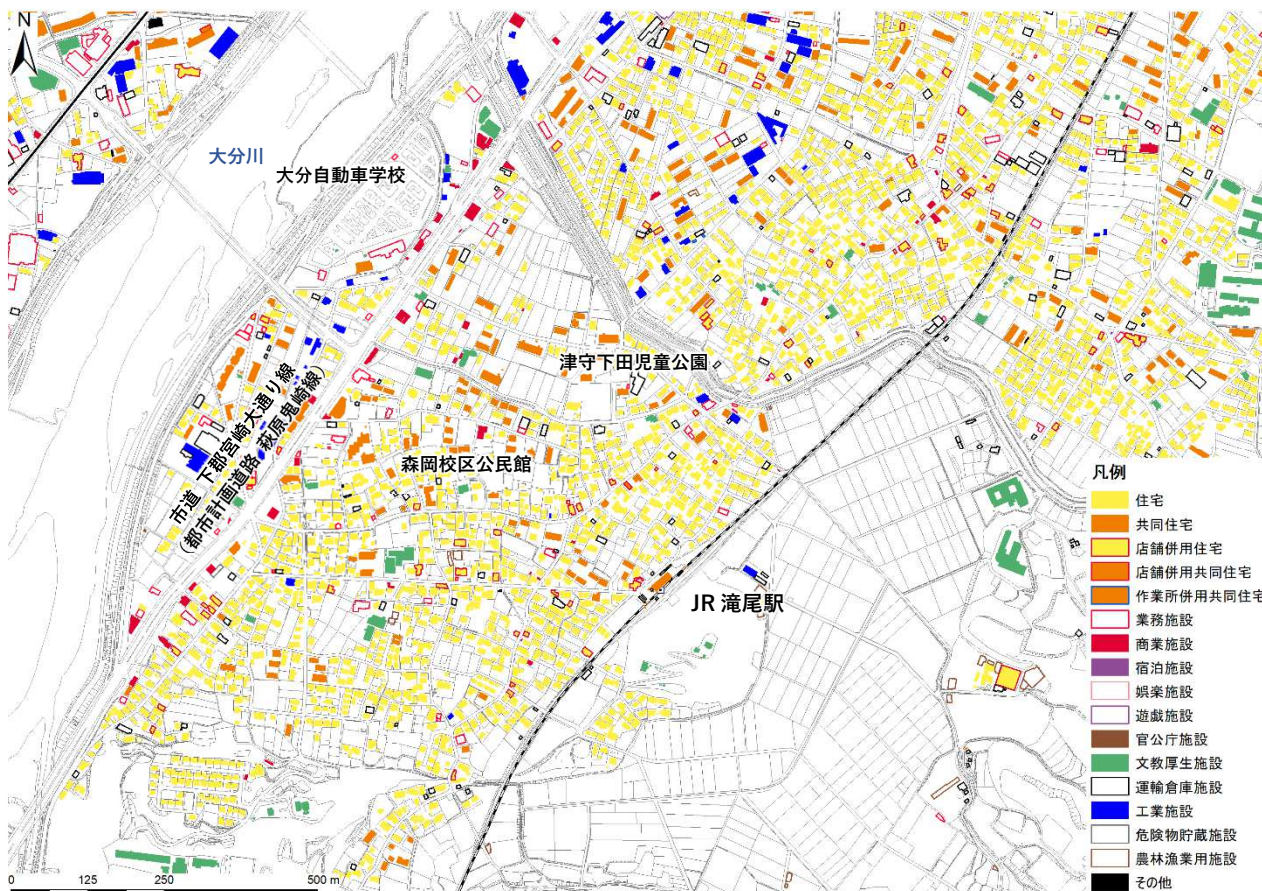
### (1) 建物用途の状況

本地区内は、ほとんどが住宅、共同住宅となっています。

本地区北西側の市道下郡宮崎大通り線（都市計画道路萩原鬼崎線）の沿道には、商業施設や業務施設が建ち並んでおり、下郡宮崎大通り線と大分川の間や本地区北部には、工業施設が点在しています。

また、本地区内には、森岡校区公民館をはじめ、公民館や学校、病院、こども園等の文教厚生施設も多く立地しています。

建物用途現況（平成 28 年度）

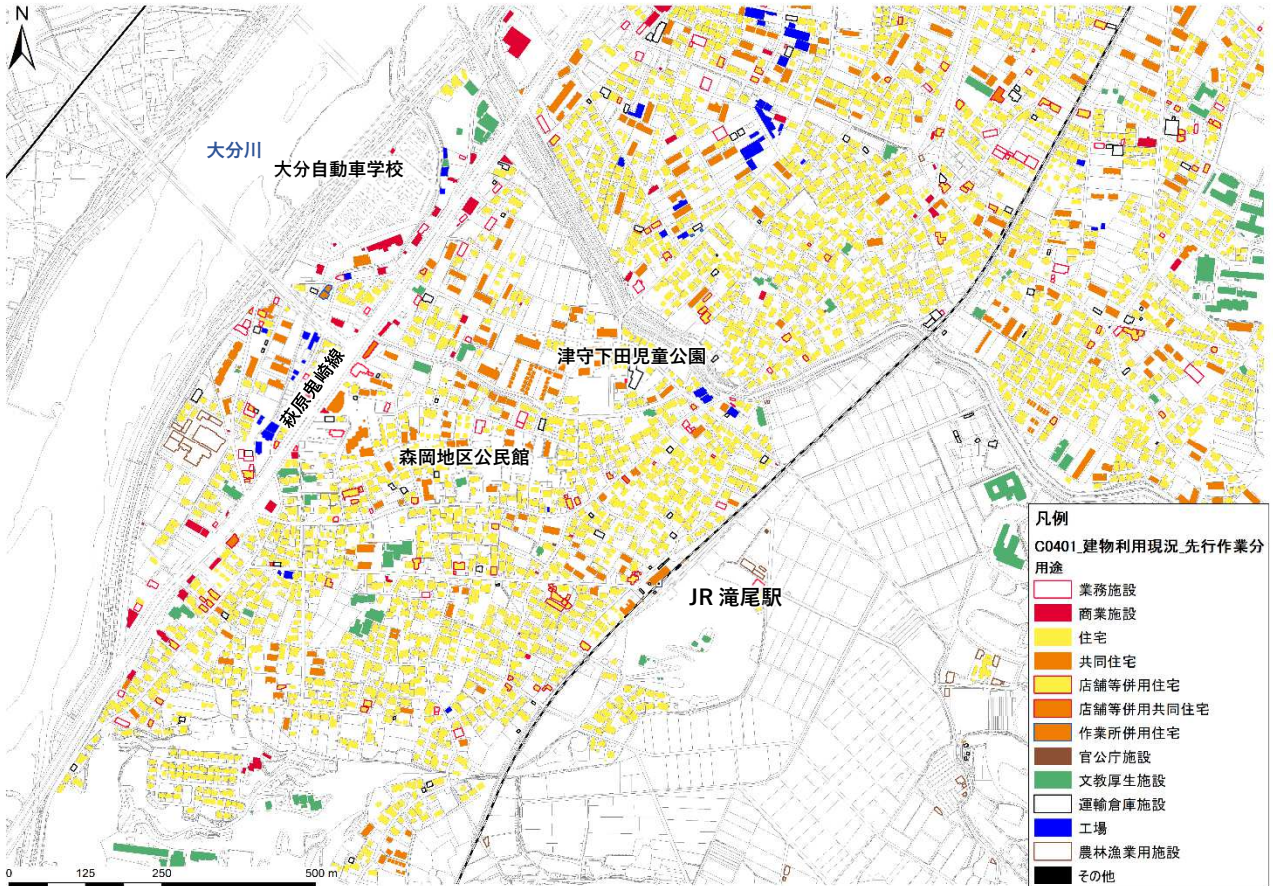


資料：都市計画基礎調査（平成 28 年度）



令和3年度の建物用途現況を見ると、津守下田児童公園の周辺等に、住宅や共同住宅等の新規立地が見られるなど、田や畑等の農地を転用し、住宅開発が進行している状況が見られます。

### 建物用途現況（令和3年度時点）



資料：都市計画基礎調査（令和4年度）

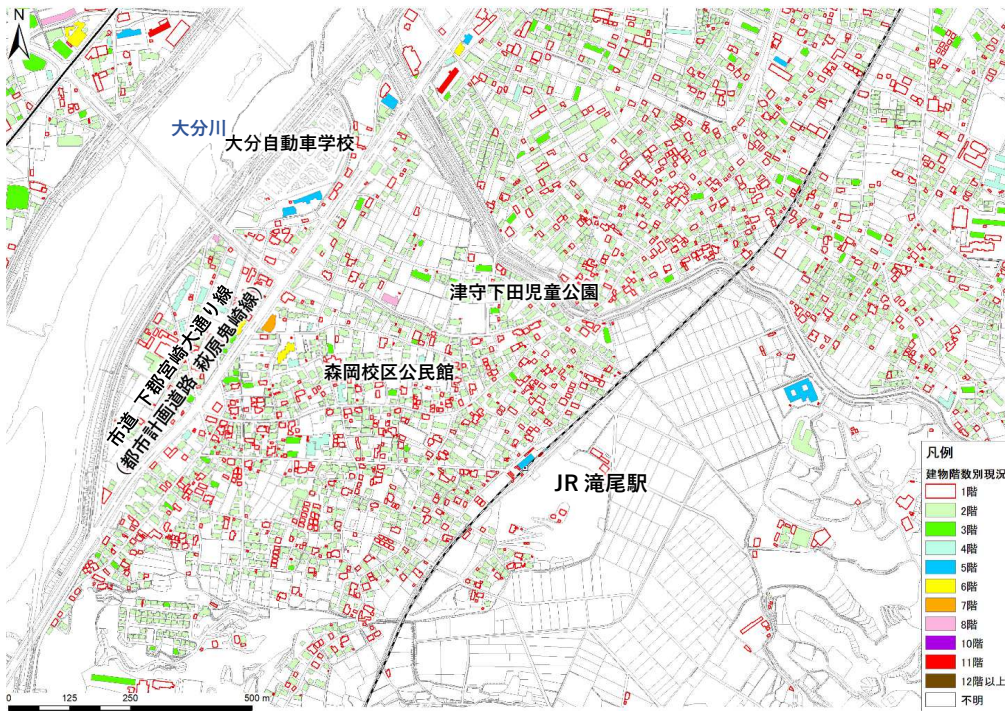


## (2) 建物階数等の状況

本地区内の建物階数は、低層（1階～2階）の建物がほとんどを占めていますが、3～6階建ての建物も一部に点在しています。

街区容積率は、「100%未満」の街区がほとんどを占めており、一部で100%以上の街区も見られるものの、本地区全体として土地の高度利用が進んでいない状況にあります。

建物階数別現況（平成28年度）



街区容積率

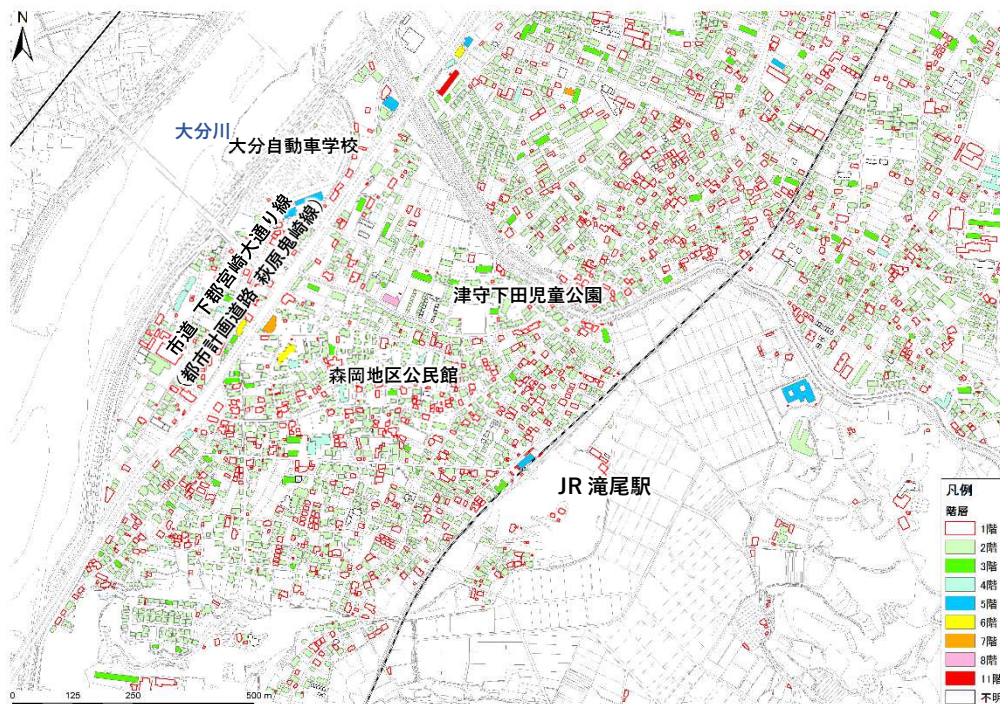


資料：都市計画基礎調査（平成28年度）



令和3年度の建物用途現況を見ると、平成27年時点から大きな変化はなく、低層（1階～2階）の建物がほとんどを占めており、3～6階建ての建物も一部に点在しています。

### 建物階数別現況（令和3年度時点）



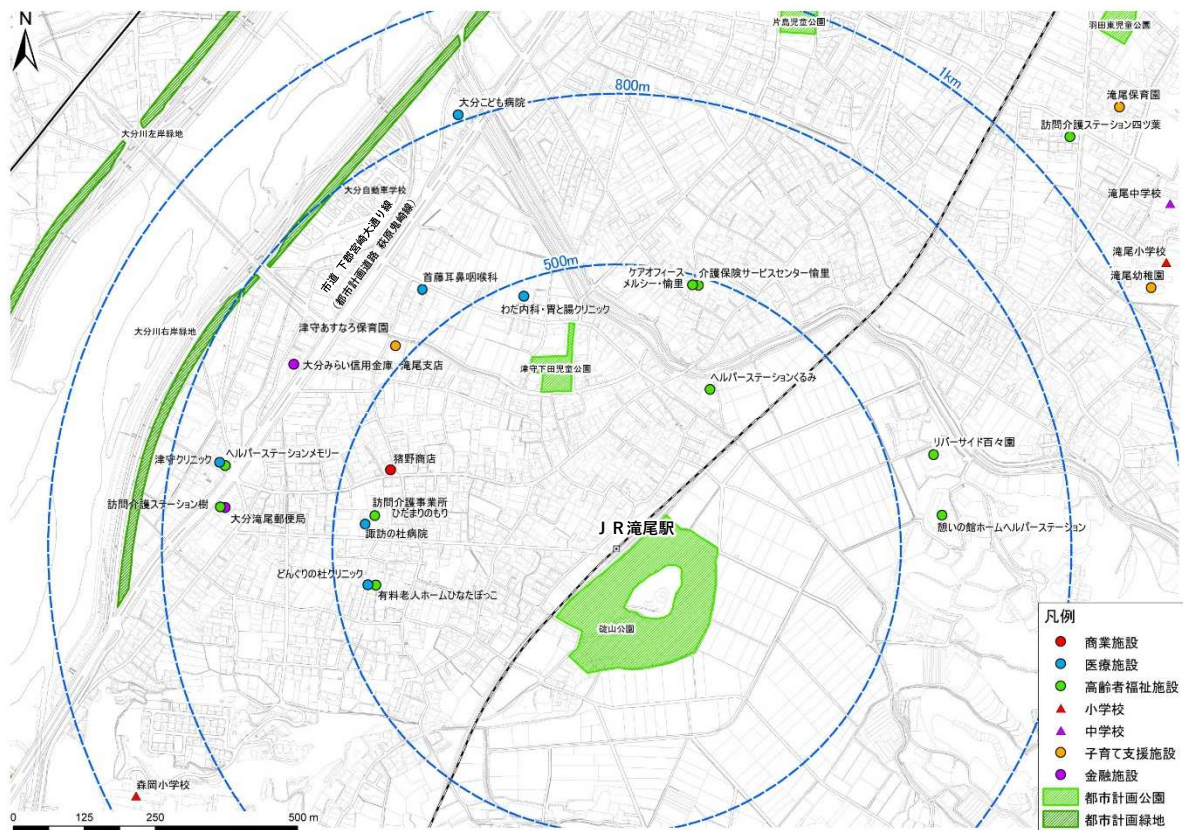
資料：都市計画基礎調査（令和4年度）

## 6. 都市機能の立地状況

JR 滝尾駅から 800m 圏の北西部を中心に、医療施設、高齢者福祉施設を中心とした都市機能が立地しています。また、500m 圏内には、碓山公園や津守下田児童公園が立地し、大分川沿岸は、大分川右岸緑地となっているなど、地区住民の憩いの空間となっています。

一方で、商業施設や子育て支援施設等の立地は、ほとんど見られない状況となっています。

都市機能立地状況

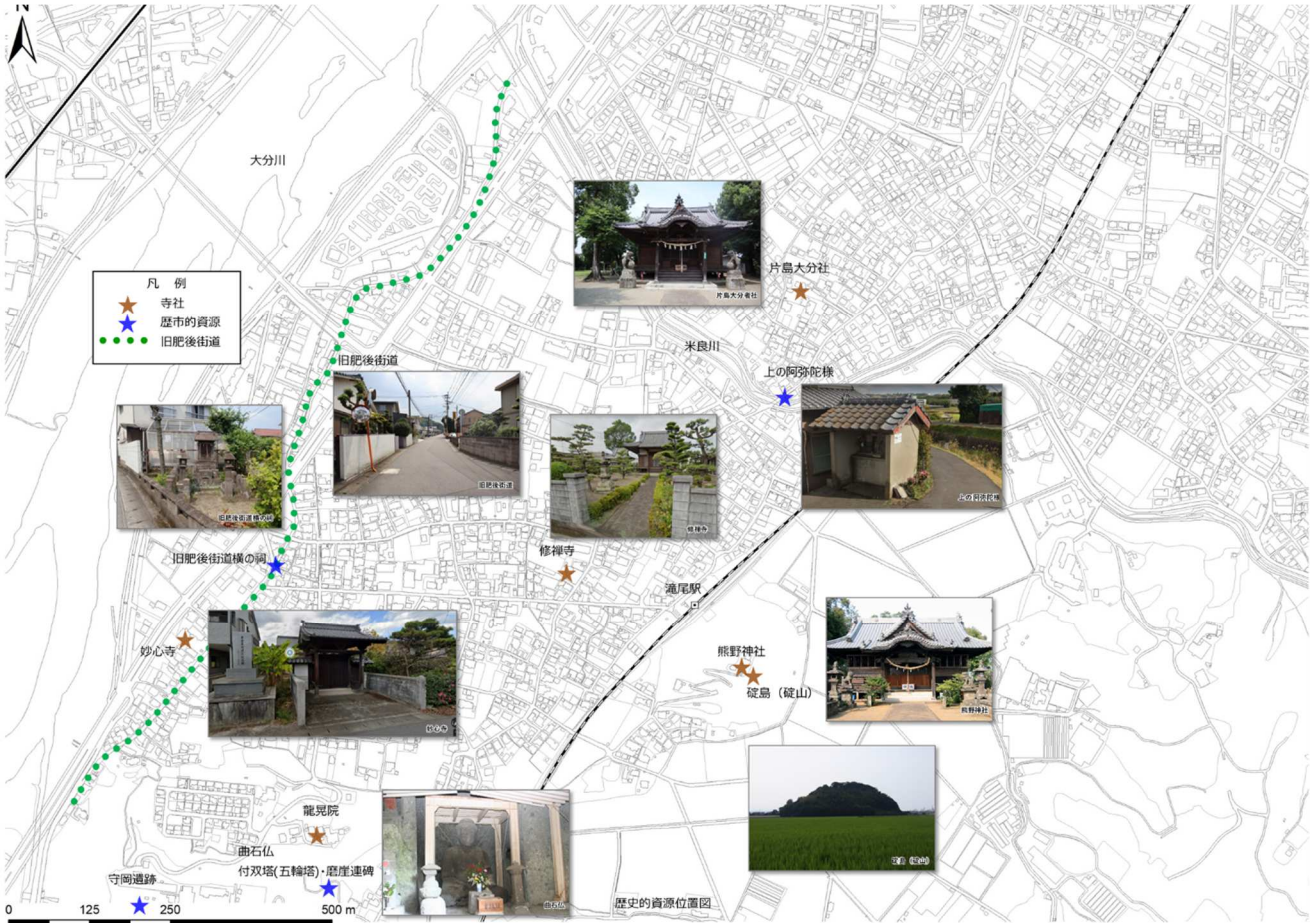




## 7. 歴史文化資源の状況

本地区内には、県指定史跡である曲石仏 付双塔（五輪塔）・磨崖連碑をはじめ、参勤交代のために整備された旧肥後街道等の資源が点在しています。

歴史文化資源



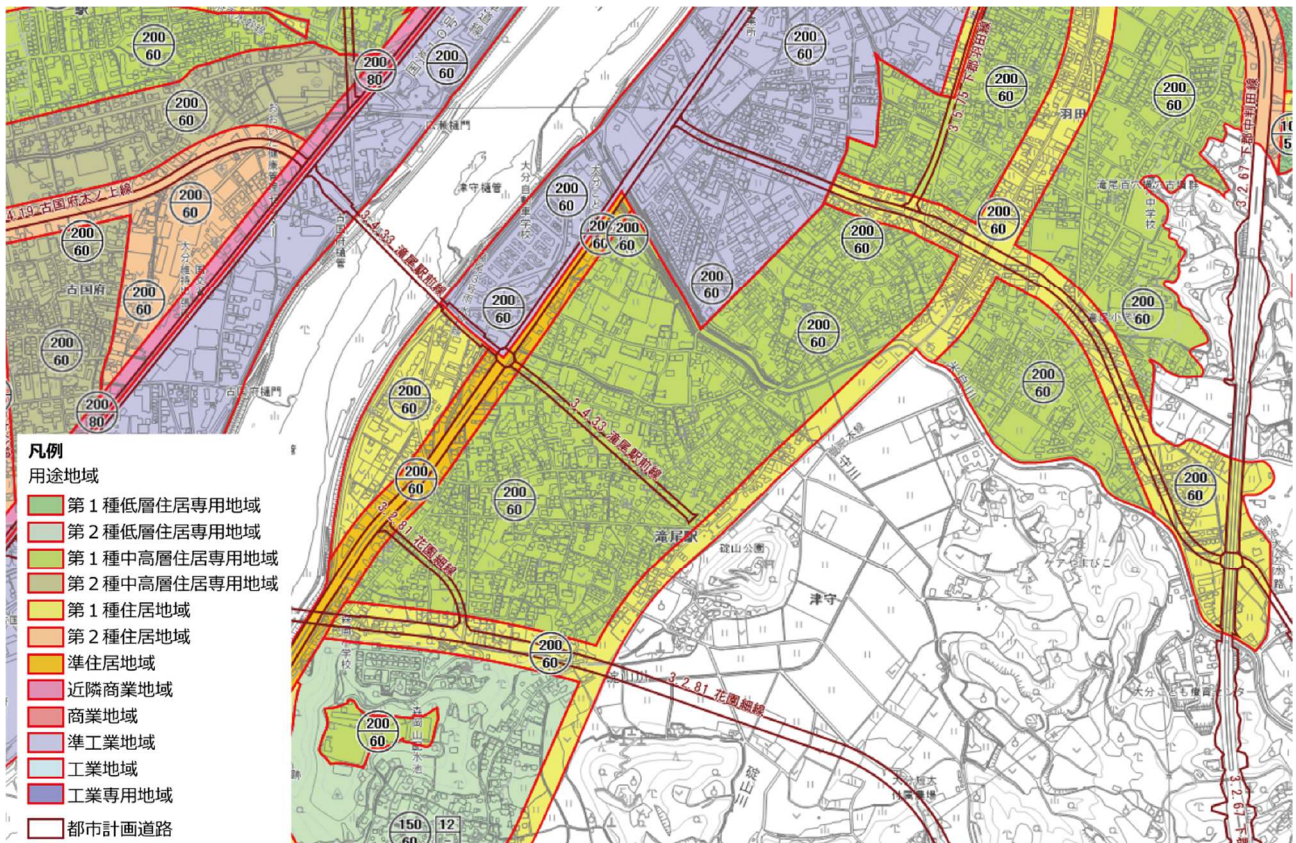


## 8. 法規制の状況

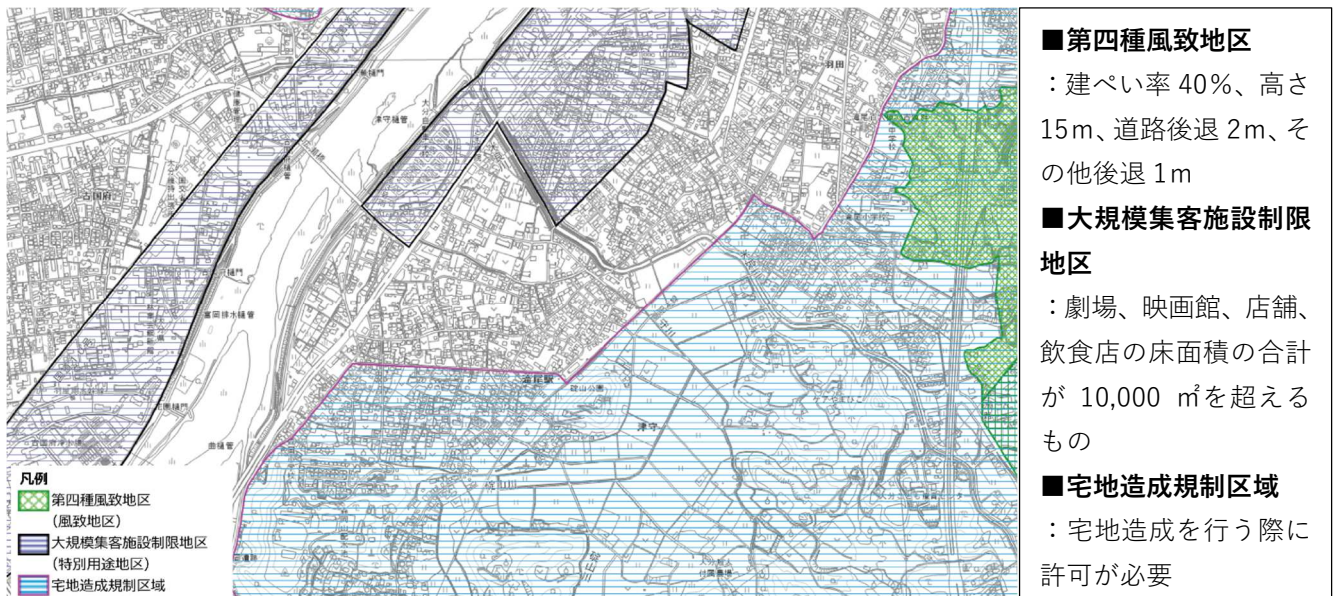
用途地域は、JR 滝尾駅北西側の住宅地に第1種中高層住居専用地域が指定されており、鉄道沿道は、第1種住居地域が指定されています。

本地区の北部は、準工業地域が指定され、市道下郡宮崎大通り線（都市計画道路萩原鬼崎線）は、準住居地域が指定されるなど、本地区全域において、多様な都市機能の立地や高度化を進めやすい地域となっています。

用途地域の指定状況



その他の規制区域の指定状況



資料：おおいたマップ

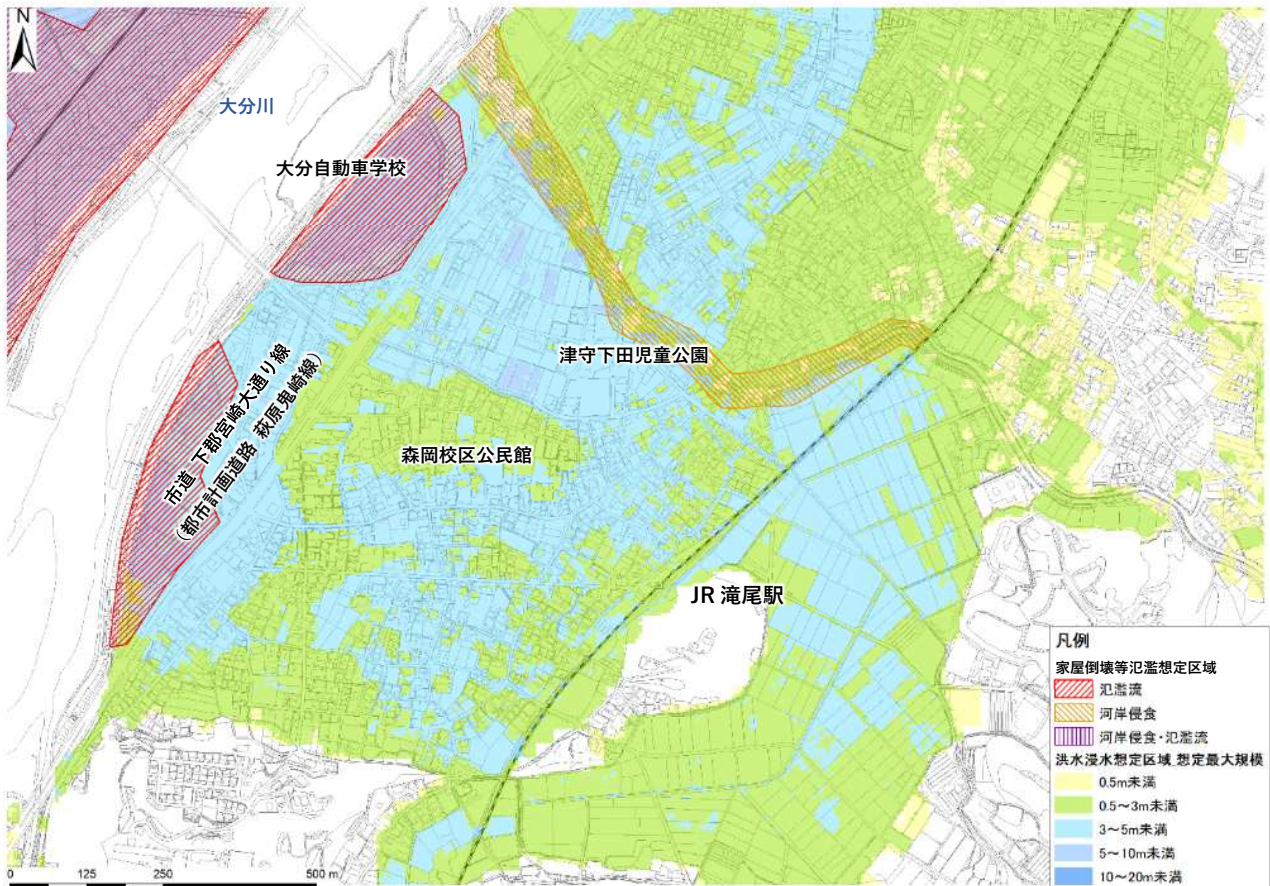


## 9. ハザードエリアの状況

### (1) 洪水浸水想定区域（想定最大規模）

洪水浸水想定区域（想定最大規模）は、地区内のほぼ全域となっており、洪水時には3m～5mの浸水（2階の屋根まで浸水）が想定されています。大分川沿岸や米良川沿岸では、家屋の倒壊・流失をもたらすような堤防決壊に伴う激しい氾濫流や河岸侵食が発生することが想定される「家屋倒壊等氾濫想定区域」が指定されている区域があります。

洪水浸水想定（想定最大規模）の状況



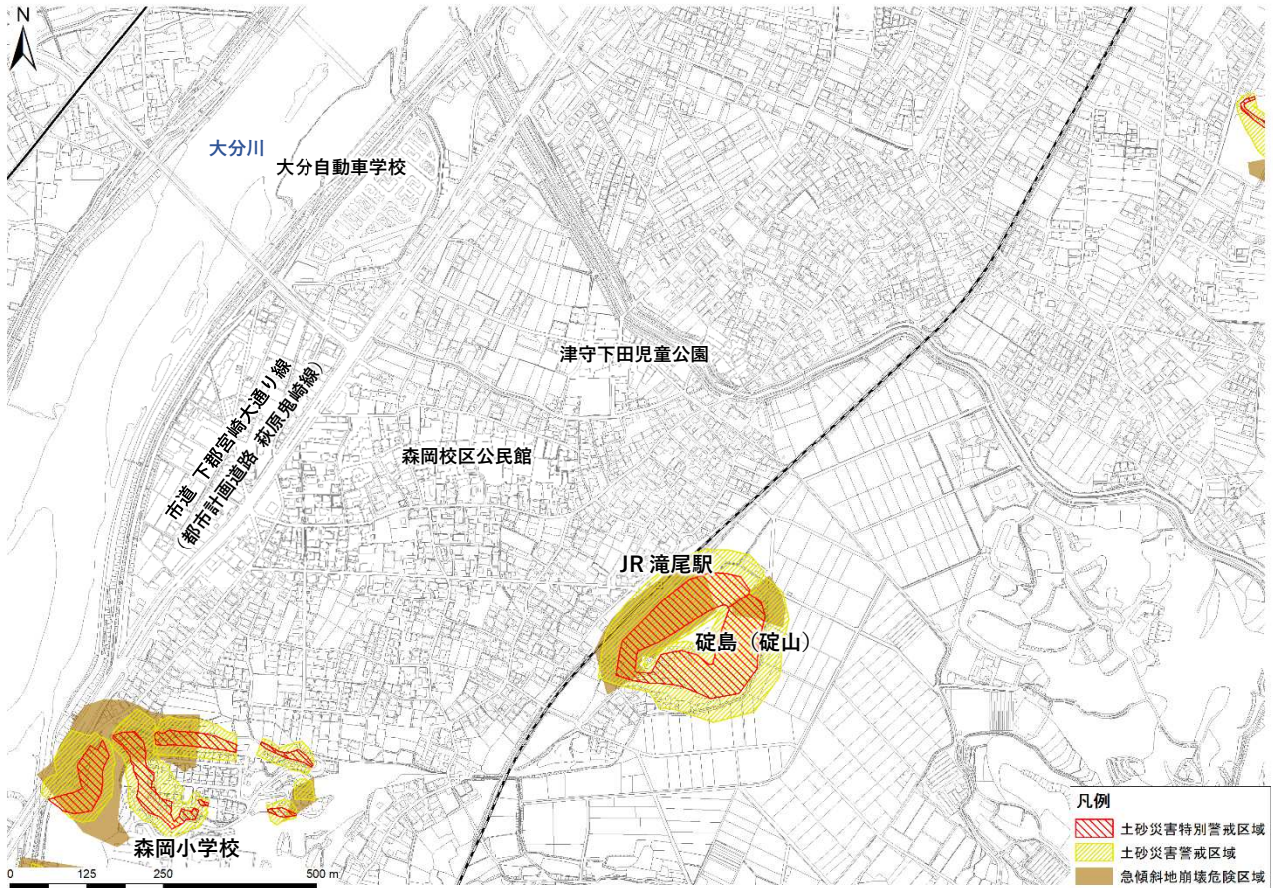
※「浸水想定区域（想定最大規模）」とは、1000年に1回程度の発生が想定されている降雨規模（想定し得る最大規模の降雨）

1000年毎に1回発生する周期的な降雨ではなく、1年の間に発生する確率が1/1000（0.1%）以下の降雨です。

## (2) 土砂災害特別警戒区域等

土砂災害に関するハザードエリアは、碓島（碓山）及び森岡小学校周辺（曲）にまとまって、指定されています。

土砂災害に関するハザードエリアの状況





## 第3章 課題の整理

上位・関連計画及び関連事業、滝尾駅周辺の現況を踏まえ、本地区の整備に向けた課題を以下に整理します。

### 1. JR 滝尾駅周辺に関する課題

#### 課題①：交通結節機能の改善

- たきおコミュニティバスの滝尾駅前バス停などは約 200m離れた場所にあるため、鉄道からの乗り換えが不便です。
- 鉄道から他の交通への乗継がしづらい状況となっており、交通結節点としての機能が不足しています。

#### 課題②：駅前広場の整備

- 駅周辺の道路が狭く、駅前広場がないため、送迎車や路線バスの侵入が困難であり、停車できるスペースがありません。
- JR 滝尾駅の乗客数は 2017 年度の 14.9 万人をピークに、2020 年度は 11.2 万人まで減少しており、地域の玄関口としての機能を十分に発揮できていません。

#### 課題③：駐車場・駐輪場の確保

- JR 滝尾駅前には駐車スペースが 3 台程度、駐輪場は未舗装であり、どちらも十分ではありません。

### 2. 周辺道路に関する課題

#### 課題①：道路環境の改善

- 本地区では全般的に道路の幅員が狭いため、歩行者や車両等の安全と円滑な交通を確保する道路の整備が求められています。
- 狭あい道路の解消が必要です

#### 課題②：地区内交通ネットワークの改善

- 本地区では、区域外からの通過交通が流入しています。
- 本地区では、区域内移動や区域外へ移動する幹線道路がありません。

### 3. 土地利用に関する課題

#### 課題①：生活利便施設の立地促進

- 本地区では商業施設や子育て支援施設等が少なく、それら生活利便施設の立地を促す方策が必要です。

#### 課題②：土地利用手法の検討

- 幹線道路の整備に伴って発生する、残地の利活用手法の検討が必要です。
- 幹線道路の整備に伴う沿道の土地利用の方策の検討が必要です。

### 4. その他の課題

#### 課題①：災害対策の促進

- 本地区では碓島（碓山）周辺と森岡小学校周辺に土砂災害（特別）警戒区域があり、防災・減災への対応が必要です。

#### 課題②：歴史文化資源の活用

- 本地区の整備にあたっては、曲石仏や熊野神社、碓島（碓山）など地区内に多くある歴史文化資源の活用への配慮が必要です。



滝尾駅周辺の課題図

3. 土地利用に関する課題

課題①：生活利便施設の立地促進

- 本地区では商業施設や子育て支援施設等が少なく、それら生活利便施設の立地を促す方が必要です。

課題②：土地利用手法の検討

- 幹線道路の整備に伴って発生する、残地の利活用手法の検討が必要です。
- 幹線道路の整備に伴う沿道の土地利用の方策の検討が必要です。

2. 周辺道路に関する課題

課題①：道路環境の改善

- 本地区では全般的に道路の幅員が狭いため、歩行者や車両等の安全と円滑な交通を確保する道路の整備が求められています。

●狭あい道路の解消が必要です

課題②：地区内交通ネットワークの改善

- 本地区では、区域外からの通過交通が流入しています。
- 本地区では、区域内移動や区域外へ移動する幹線道路がありません。

1. JR 滝尾駅周辺に関する課題

課題①：交通結節機能の改善

- たきおコミュニティバスの滝尾駅前バス停などは約 200m離れた場所にあるため、鉄道からの乗り換えが不便です。
- 鉄道から他の交通への乗継がしづらい状況となっており、交通結節点としての機能が不足しています。

課題②：駅前広場の整備

- 駅周辺の道路が狭く、駅前広場がないため、送迎車や路線バスの侵入が困難であり、停車できるスペースがありません。
- JR 滝尾駅の乗客数は 2017 年度の 14.9 万人をピークに、2020 年度は 11.2 万人まで減少しており、地域の玄関口としての機能を十分に発揮できていません。

課題③：駐車場・駐輪場の確保

- JR 滝尾駅前の駐車スペースは 3 台程度、駐輪場は未舗装で、どちらも十分ではありません。

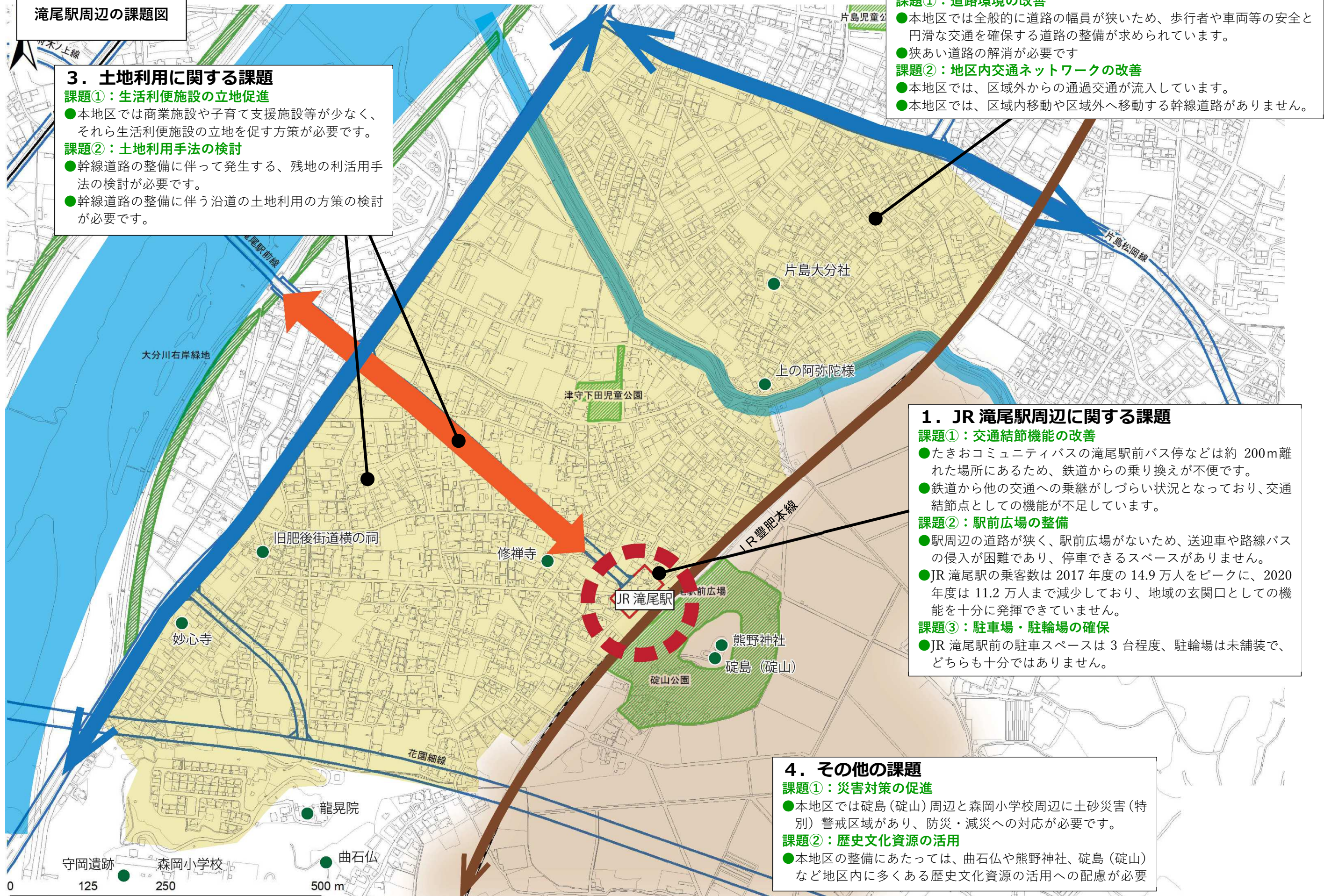
4. その他の課題

課題①：災害対策の促進

- 本地区では碓島(碓山)周辺と森岡小学校周辺に土砂災害(特別)警戒区域があり、防災・減災への対応が必要です。

課題②：歴史文化資源の活用

- 本地区の整備にあたっては、曲石仏や熊野神社、碓島(碓山)など地区内に多くある歴史文化資源の活用への配慮が必要





## 第4章 滝尾駅周辺地区の将来像

### 1. 滝尾駅周辺地区の魅力

本地区は旧肥後街道沿いの集落から発展した古くからの市街地で、曲石仏や熊野神社などの歴史的資源が点在しています。地区の北西側には大分川が流れ、滝尾駅南東側の碓島（碓山）と地区南側の森岡はシンボリックな緑地景観を形成しています。また、本地区の多くは低層戸建て住宅主体の住宅地となっているほか、JR 豊肥本線の南東側には農地が広がっています。

本地区から大分市の都心部へは車で10～20分、滝尾駅から大分駅へは鉄道で約7分と近距離に立地し、大分市全体の人口がここ数年減少傾向にあるなかで、本地区の滝尾駅に近い津守や曲の人口は微増傾向にあります。

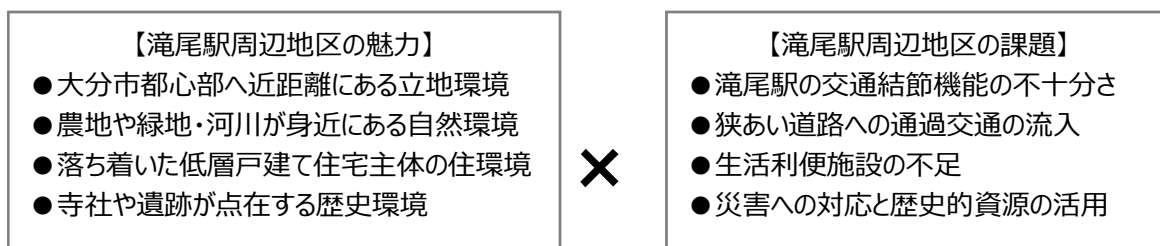
このように本地区は、都心部への近接性と、身近に農地や緑地、歴史的資源がある環境を備えた魅力のある地区です。

### 2. 滝尾駅周辺地区の将来像

本地区では多くの魅力がある一方、交通結節点として JR 滝尾駅周辺が十分に機能していないこと、通過交通が狭い道路に流入していること、商業施設や子育て支援施設等の生活利便施設の立地が進んでいないこと、その他災害への対応や歴史文化資源の活用など、様々な問題も生じてきています。

さらに、成長社会から成熟社会への移行に伴い人々の意識や価値観は変化し、働き方の多様化や暮らしの質が重要視されるなど、人々が暮らしに求めるものも多様化しつつあり、時代のニーズに沿ったまちづくりが求められています。

本地区では、各課題を踏まえて、地区の魅力と利便性・安全性をより高めていくことができる都市基盤の整備を目指し、「地域の拠点と周辺環境の整備による居住環境の向上」をまちの将来像とします。



地域の拠点形成と道路ネットワークなどの都市基盤の形成

地域の拠点と周辺環境の整備による居住環境の向上

## 第5章 都市づくり方針

本地区の将来像を実現していくための4つの方針を設定します。

### 1. 滝尾駅の交通結節機能の強化

#### (1) 滝尾駅前広場の整備推進

滝尾駅前広場については、自家用車、バス、タクシー、二輪車、自転車、歩行者が安全で円滑な利用が可能な駅前広場の配置と形態（道路・広場・駐輪場・駐車場等）の検討と整備の推進を図ります。

#### (2) バリアフリー化の推進

駅周辺の整備にあたっては、高齢者や障がい者を含めて誰もが使いやすいものとするため、歩行者動線の段差解消や乗降しやすいバス停留所など、バリアフリー化を推進します。

#### (3) 滝尾駅前線の整備促進

本地区の内外から滝尾駅への円滑なアクセスが可能となるよう、都市計画道路 滝尾駅前線の整備を促進します。

#### (4) 住民参加による駅前空間づくり

本地区の顔となる駅前空間を実現するため、周辺住民の意向を反映するとともに、市民や交通事業者、行政など関係者の連携を図ります。

### 2. 地区内・地区外への円滑な移動を行うための安全で快適な道路空間の形成

#### (1) 東西軸となる幹線道路の整備

大分市都心部方面からの円滑な移動を強化し、滝尾駅を拠点とした地区内の東西軸となる、都市計画道路 滝尾駅前線の整備を促進します。

#### (2) 南北軸となる幹線道路の検討

円滑に地区内・地区外を移動できるようにするため、周辺道路の整備状況を踏まえ、地区内南北軸幹線（バイパス道路）の検討を行います。

#### (3) 安心安全な道路空間の検討

本地区内の細街路については、幅員の狭い道路・交差点における安心安全な道路空間の形成手法の検討を行います。



### 3. 整備に伴う計画的な土地利用の推進

#### (1) まちづくりを誘導する用途地域の検討

新たに整備が必要な駅前広場や幹線道路の周辺における生活利便施設の立地促進に向けた用途地域の変更について検討します。

#### (2) 良好な住環境づくりに向けた土地利用手法の検討

幹線道路の整備による良好な住環境の実現を実現するため、道路整備に伴い発生する残地や敷地の整序に関する土地利用手法の検討を行います。

### 4. 防災・減災への対応と地域資源の活用

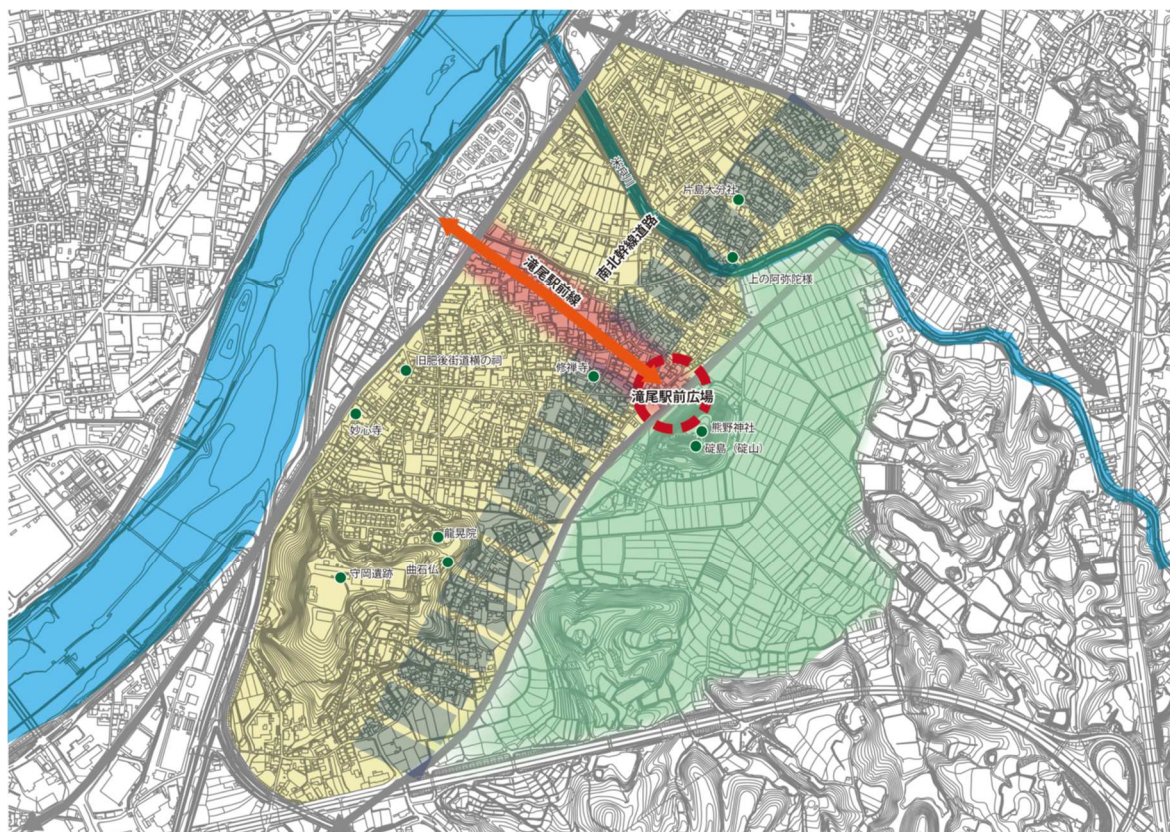
#### (1) 防災・減災への対応

急傾斜地崩壊対策事業等の活用など、土砂災害の恐れのある区域への対処を検討するとともに、幹線道路の整備等にあたっては防災面への配慮を行います。

#### (2) 地域資源の活用

本地区における歴史や自然などの地域資源を活用するための誘導案内看板等の設置を検討します。

#### 都市づくり方針図



## 第6章 方針実現に向けた取組

都市づくり方針に沿って今後展開していく取組のイメージを示します。

### 1. 滝尾駅周辺全域（共通）

#### 【取組の概要】

- ・ 住環境の向上に向けた基盤整備に伴う民間の取組が必要です。
- ・ 防災・減災に向けた継続的な取組が必要です。

#### 【取組の主体】

民間、大分市、大分県

#### 【取組のポイント】

- ・ 道路整備や土地利用、防災面への配慮など、周辺の状況も含めた総合的な観点からの検討が必要です。
- ・ 官、民での連携が必要です。
- ・ 交通結節機能の向上のため、関係機関との連携が必要です。
- ・ 土地利用を促進するため、用途地域や地区計画などの都市計画手法の活用や、民間による開発等のはたらきかけが必要です。
- ・ 整備においては、防災面への配慮が必要です。
- ・ 土砂災害の恐れのある区域における急傾斜地崩壊対策事業等、事前防災事業の活用を検討します。
- ・ 災害の発生に備えた情報周知の徹底や防災訓練等の定期的な実施など、ソフト面における防災・減災に向けた取組が必要です。
- ・ 整備においては、デジタル化を含む次世代技術等の導入の可能性を考慮します。
- ・ 本地区の歴史や自然などの地域資源を活用したまちづくりの推進に向けて、地区内の魅力の紹介等を行う案内看板等の設置を検討します。

## 2. 都市計画道路 滝尾駅前線

### 【取組の概要】

- ・地区の内外から滝尾駅への円滑なアクセスが可能となるよう、都市計画道路 滝尾駅前線の整備を推進します。

### 【取組の主体】

大分市、民間

### 【取組のポイント】

- ・滝尾駅前線は、滝尾駅を拠点とした地区内の東西軸となる幹線道路として、円滑で安全な移動の実現を図ります。
- ・道路沿道の土地利用を考慮した用途地域の検討を行います。
- ・道路整備と併せた残地や敷地の整序に関する手法を検討します。
- ・行政や市民など関係者の連携が必要です。

## 3. 滝尾駅前広場

### 【取組の概要】

- ・JR 滝尾駅の交通結節機能を向上するとともに、本地区の都市づくりの拠点となるよう、駅前広場の整備を推進します。

### 【取組の主体】

大分市、JR九州、民間

### 【取組のポイント】

- ・自家用車、バス、タクシー、二輪車、自転車、歩行者が安全で円滑な利用が可能な駅前広場の配置と形態（道路・広場・駐輪場・駐車場等）を検討します。
- ・誰もが使いやすい交通結節点になるように、段差の解消等のバリアフリー化を推進します。
- ・本地区の顔となる駅前空間を実現するため、周辺住民の意向を反映するとともに、市民や交通事業者、行政など関係者の連携を図ります。
- ・周辺からのアクセスを考慮した交通結節拠点としての機能の検討を行うとともに、駅の機能拡充の検討をはたらきかけます。
- ・広場周辺の土地利用を考慮した用途地域の検討を行います。
- ・広場整備と併せた残地や敷地の整序に関する手法を検討します。
- ・次世代型モビリティの導入可能性も踏まえた規模や構造を検討します。
- ・行政や市民、交通事業者等など関係者の連携による検討体制の構築を目指します。



## 4. 南北幹線道路

### 【取組の概要】

- ・周辺道路の整備状況を踏まえ、地区の南北軸となる幹線道路（バイパス道路）の整備を検討します。

### 【取組の主体】

大分市

### 【取組のポイント】

- ・地区内の南北軸となる幹線道路として、地区内・地区外を円滑に移動できる形態を検討します。
- ・幹線道路として沿道の土地利用も含めた検討が必要です。
- ・歩行者が安心安全に移動できる歩道など、バリアフリーに配慮します。

## 5. 狭あい道路等

### 【取組の概要】

- ・狭あい道路や幅員の狭い道路、交差点における、安心安全な道路空間の形成手法を検討します。

### 【取組の主体】

大分市、民間

### 【取組のポイント】

- ・住環境の向上のため、狭あい道路等の解消が必要です。
- ・狭あい道路等の解消に向けて、計画的な取組と効果的な手法の検討が必要です。
- ・地区の安全性の向上のため、市民・事業者・行政などの関係者間の調整・協力が必要です。

**滝尾駅周辺全域（共通）**

- ・ 住環境の向上に向けた基盤整備に伴う民間の取組及び防災・減災に向けた継続的な取組

**狭あい道路等**

- ・ 狭あい道路や幅員の狭い道路、交差点における、安心安全な道路空間の形成手法の検討

**都市計画道路 滝尾駅前線**

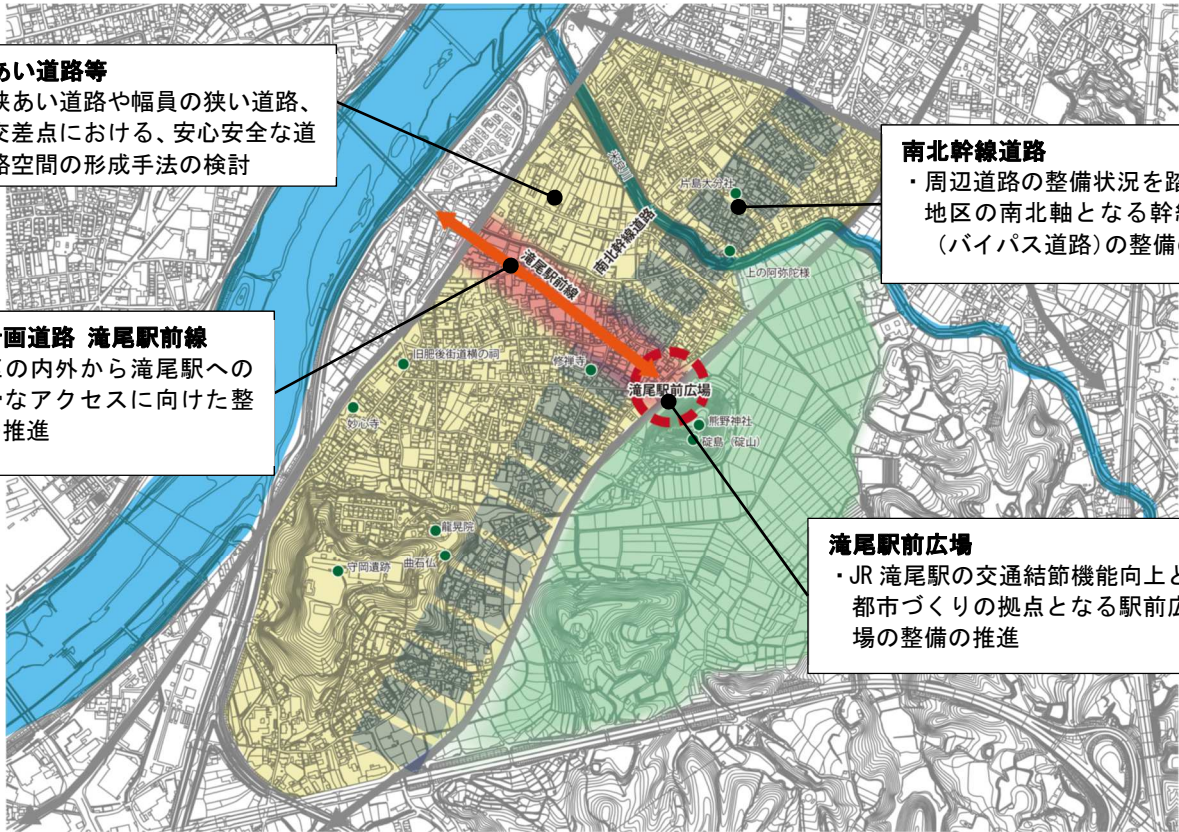
- ・ 地区の内外から滝尾駅への円滑なアクセスに向けた整備の推進

**南北幹線道路**

- ・ 周辺道路の整備状況を踏まえ、地区の南北軸となる幹線道路（バイパス道路）の整備の検討

**滝尾駅前広場**

- ・ JR 滝尾駅の交通結節機能向上と都市づくりの拠点となる駅前広場の整備の推進



都市づくり方針と取組のイメージ図



## 滝尾駅周辺全域（共通）

### 【取組の概要】

- ・住環境の向上に向けた基盤整備に伴う取組が必要です。
- ・防災・減災に向けた継続的な取組が必要です。

### 【取組の主体】

大分市、民間

### 【取組のポイント】

- ・道路整備や土地利用、防災面への配慮など、周辺の状態も含めた総合的な観点からの検討が必要です。
- ・官、民での連携が必要です。
- ・交通結節機能の向上のため、関係機関との連携が必要です。
- ・土地利用を促進するため、用途地域や地区計画などの都市計画手法の活用や、民間による開発等のはたらきかけが必要です。
- ・整備においては、防災面への配慮が必要です。
- ・土砂災害の恐れのある区域における急傾斜地崩壊対策事業等、事前防災事業の活用を検討します。
- ・災害の発生に備えた情報周知の徹底や防災訓練等の定期的な実施など、ソフト面における防災・減災に向けた取組が必要です。
- ・整備においては、デジタル化を含む次世代技術等の導入の可能性を考慮します。
- ・本地区の歴史や自然などの地域資源を活用したまちづくりの推進に向けて、地区内の魅力の紹介等を行う案内看板等の設置を検討します。

## 南北幹線道路

### 【取組の概要】

- ・周辺道路の整備状況を踏まえ、地区の南北軸となる幹線道路（バイパス道路）の整備を検討します。

### 【取組の主体】

大分市

### 【取組のポイント】

- ・地区内の南北軸となる幹線道路として、地区内・地区外を円滑に移動できる形態を検討します。
- ・幹線道路として沿道の土地利用も含めた検討が必要です。
- ・歩行者が安心安全に移動できる歩道など、バリアフリーに配慮します。

## 都市計画道路 滝尾駅前線

### 【取組の概要】

- ・地区の内外から滝尾駅への円滑なアクセスが可能となるよう、都市計画道路 滝尾駅前線の整備を推進します。

### 【取組の主体】

大分市、民間

### 【取組のポイント】

- ・滝尾駅前線は、滝尾駅を拠点とした地区内の東西軸となる幹線道路として、円滑で安全な移動の実現を図ります。
- ・道路沿道の土地利用を考慮した用途地域の検討を行います。
- ・道路整備と併せた残地や敷地の整序に関する手法を検討します。
- ・行政や市民など関係者の連携が必要です。

## 滝尾駅前広場

### 【取組の概要】

- ・JR 滝尾駅の交通結節機能を向上するとともに、本地区の都市づくりの拠点となるよう、駅前広場の整備を推進します。

### 【取組の主体】

大分市、JR九州、民間

### 【取組のポイント】

- ・自家用車、バス、タクシー、二輪車、自転車、歩行者が安全で円滑な利用が可能な駅前広場の配置と形態（道路・広場・駐輪場・駐車場等）を検討します。
- ・誰もが使いやすい交通結節点になるように、段差の解消等のバリアフリー化を推進します。
- ・本地区の顔となる駅前空間を実現するため、周辺住民の意向を反映するとともに、市民や交通事業者、行政など関係者の連携を図ります。
- ・周辺からのアクセスを考慮した交通結節拠点としての機能の検討を行うとともに、駅の機能拡充の検討をはたらきかけます。
- ・広場周辺の土地利用を考慮した用途地域の検討を行います。
- ・広場整備と併せた残地や敷地の整序に関する手法を検討します。
- ・次世代型モビリティの導入可能性も踏まえた規模や構造を検討します。
- ・行政や市民、交通事業者など関係者の連携による検討体制の構築を目指します。

## 狭あい道路等

### 【取組の概要】

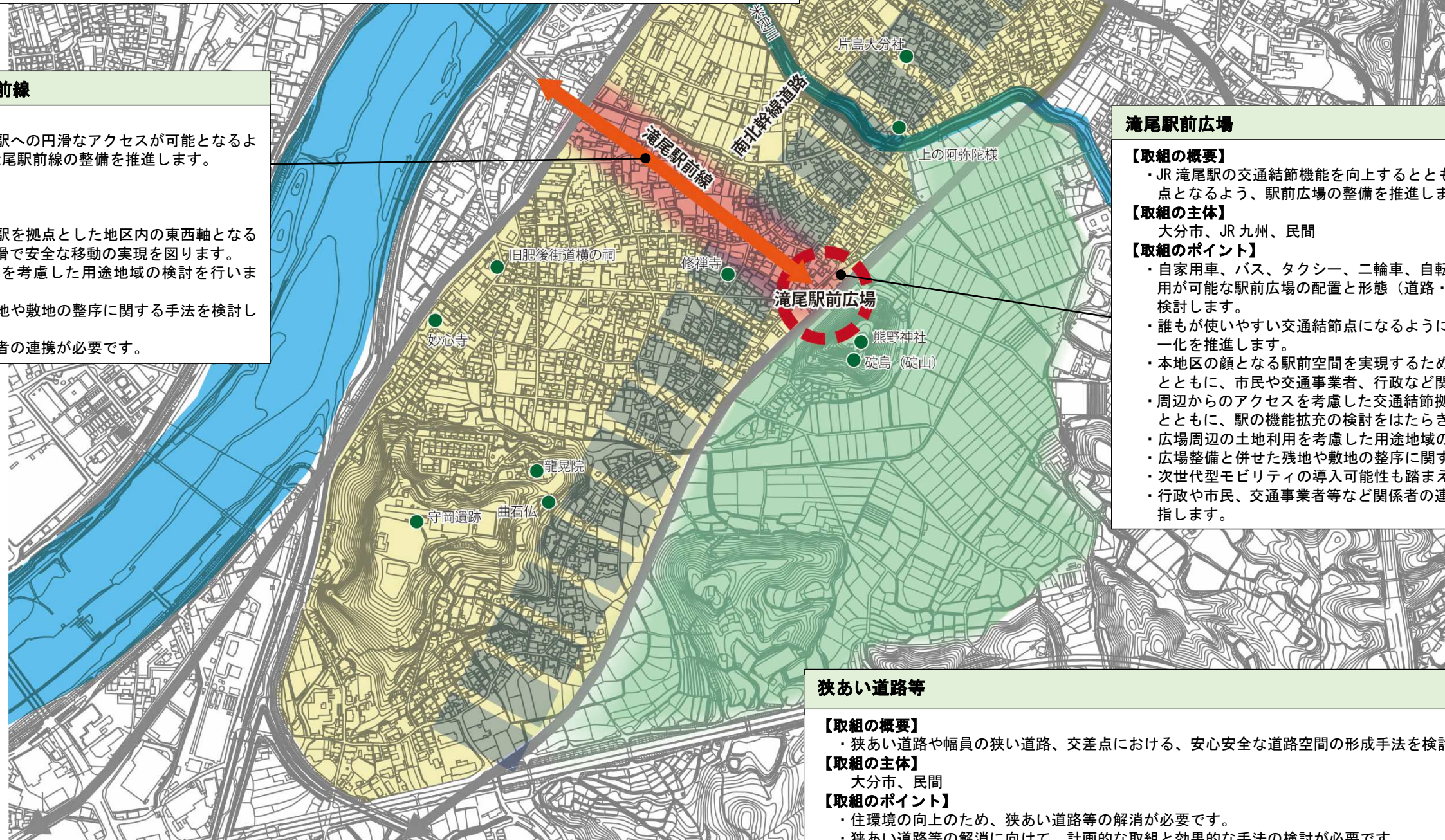
- ・狭あい道路や幅員の狭い道路、交差点における、安心安全な道路空間の形成手法を検討します。

### 【取組の主体】

大分市、民間

### 【取組のポイント】

- ・住環境の向上のため、狭あい道路等の解消が必要です。
- ・狭あい道路等の解消に向けて、計画的な取組と効果的な手法の検討が必要です。
- ・地区の安全性の向上のため、市民・事業者・行政などの関係者間の調整・協力が必要です。





## 6. 各取組の実施時期のイメージ

	取組内容	取組時期			
		短期	中期	長期	
滝尾駅周辺全域(共通)	滝尾駅周辺全域	住環境の向上に向けた基盤整備に伴う取組 防災・減災に向けた取組			
都市計画道路 滝尾駅前線	滝尾駅前線	地区の東西軸となる滝尾駅前線との整備			
滝尾駅前広場	滝尾駅前広場	交通結節点となる駅前広場の整備			
南北幹線道路	バイパス道路	地区の南北軸となる幹線道路(バイパス道路)の検討			
狭あい道路等	滝尾駅周辺全域	幅員の狭い道路や交差点における安心安全な道路空間の形成検討			

## 第7章 取組実現に向けた課題

都市づくり方針を実現するために、第6章で記載した様々な取組が必要となります。第5章では主にハード整備を記載しており、その実現には多くの課題があります。

また、将来像実現のためにはハード整備だけでなく、ソフト対策も行っていく必要があります。以下に、取組実現に向けた課題を示します。

### 1. ハード整備における主な課題

- ・ 民間活力の導入が必要です。
- ・ 今後の人口減少などを踏まえて、過剰整備とならないように適切な規模、仕様、費用対効果を十分に検討することが必要です。
- ・ 整備後の維持管理を考慮し、メンテナンス性を踏まえた整備を行うことが必要です。
- ・ 補助金の活用やクラウドファンディングの活用など予算面における検討が必要です。
- ・ 整備を行うための敷地の確保など関係権利者との丁寧な合意形成が必要です。

### 2. ソフト対策における主な課題

- ・ 民間の取組との連携が必要です。
- ・ 公共施設等の整備に伴う商業施設や住宅の立地等を促進するための取組が必要です。

**編集・発行 大分市 都市計画部 都市計画課**

〒870-8504 大分市荷揚町2番31号

TEL (097)534-6111

FAX (097)536-7719

E-mail [tosikeikaku@city.oita.oita.jp](mailto:tosikeikaku@city.oita.oita.jp)

URL <http://www.city.oita.oita.jp>

**令和5年3月30日 公表**